

## 2-2. 2014 年度 大学院生の研究活動記録

注

1. 印刷中であっても、掲載が決まっているものは、本年度実績として記載可。
2. 記載方法及び論文の審査有無は院生自身の自己申告による。

### 2-2-1. 先端人間科学

先端人間科学	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率
	11 名	10 名	90.9 %	8 名	72.7 %

※在籍者には休学者を含む

指導教員	苧阪 満里子	講座/研究分野	心と脳の科学・減災人間科学
------	--------	---------	---------------

学生氏名	東 美由紀	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (openaccess)	Effect of memory load on eye movement control: A study using the reading span test	Azuma, M., Minamoto, M., Yaoi, K., Osaka, M., & Osaka, N.	2014.12	Journal of Eye Movement Research	○
学術論文 (openaccess)	The anodal tDCS over the left posterior parietal cortex enhances attention toward a focus word in a sentence.	Minamoto, T., Azuma, M., Yaoi, K., Ashizuka, A., Mima, T., Osaka, M., Fukuyama, H., & Osaka, N.	2014.12	Frontiers in Human Neuroscience	○
国内学会	ハイパースキャニングによる協調活動時の脳同期的活動の測定—fNIRSによる検討—	苧阪直行・源健宏・矢追健・東美由紀・苧阪満里子	2014.09	日本心理学会第78回大会	○
国内学会	RST 遂行中の眼球運動における記憶負荷の影響	東美由紀・源健宏・矢追健・苧阪満里子・苧阪直行	2014.09	日本心理学会第78回大会	○
国際会議 (proc.あり)	Neural synchronization during cooperated humming: A hyperscanning study using fNIRS.	Naoyuki Osaka, Takehiro Minamoto, Ken Yaoi, <u>Miyuki Azuma</u> & Mariko Osaka	2014.03-04	International Conference on Timing and Time Perception	○
国際会議 (proc.あり)	Rinzai Zen meditators are superior to resolve semantic interference: An fMRI study based on a Stroop paradigm.	N. OSAKA, T. MINAMOTO, K. YAOI, <u>M. AZUMA</u> , & M. OSAKA.	2014.11	Society for Neuroscience 2014	○
国際会議 (proc.あり)	Two Brains Make One Mind: Hyperscanning Study on Synchronized Singing/Humming Between Two People Using fNIRS.	Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., <u>Azuma, M.</u> , & Osaka, M.	2014.11	The Psychonomic society 55th annual meeting	○
発表 (シンポジウム)	経頭蓋直流電気刺激法(tDCS)による注意機能の促進:リーディングスパン課題を用いた検討	源健宏・東美由紀・苧阪満里子	2014.07	第4回脳情報通信融合研究シンポジウム	

#### ○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	東 美由紀	平成 26 年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	肥後 克己	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (openaccess)	Robust order representation is required for backward recall in the Corsi blocks task	K. Higo, T. Minamoto, T. Ikeda, M. Osaka	2014.11	Frontiers in psychology	○
国内学会	視空間課題における高齢者の系列記憶機能の検討	肥後克己, 苧阪満里子	2014.12	日本ワーキングメモリ学会第11回大会	○
研究会発表	Order Representation and Spatial Working Memory"	Katsuki Higo	2014.07	Projects for promoting international joint research "Cognitive Neuroscience and Social Gerontology Studies Aiming to Develop A Care Welfare Service for Successful Aging in the Super-Aging Elderly" 2nd research seminar.	
研究会発表	系列的視空間性ワーキングメモリ課題遂行に関わる認知機能の検討	肥後克己	2015.01	Memory Discussion Meeting	

学生氏名	新井 智大	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表	フォーカス・リーディングスパンテストおよび非フォーカス・リーディングスパンテストにおける加齢効果の検討	新井智大	2014.12	第12回日本ワーキングメモリ学会	

指導教員	渥美 公秀	講座/研究分野	心と脳の科学・減災人間科学
------	-------	---------	---------------

学生氏名	酒井 明子	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	集中治療室に緊急入室した意識障害のある患者の家族援助に影響するエキスパートナースの直観に関する研究		井上和也 酒井明子		2014.12	日本看護科学学会雑誌		○	
国際会議 (proc.なし)	The present state and evaluation of developing disaster nursing coordinators		HirokoKuroda,Mariko Ohara,Akiko Sakai TatsueYamazaki		2014.06	WDSN2014 Beijing,China,2014.06		○	
国際会議 (proc.なし)	A Study of the Meaning of Discourse on Disaster Experiences for Victims of the Great East Japan Earthquake		A.Sakai,S.Shigeta, K.Asou,T.himizu		2014.06	WDSN2014 Beijing,China,2014.06		○	
国内学会	慢性疾患をもつ老年期の被災者の健康管理—被災者の生活に焦点をあてて—		清水誉子,酒井明子,繁田里美,月田佳寿美,麻生佳愛		2014.08	日本災害看護学会第16回年次大会		○	
国内学会	過疎地域における住民の災害への意識と防災対策の現状		月田佳寿美,清水誉子,酒井明子,繁田里美,麻生佳愛		2014.08	日本災害看護学会第16回年次大会		○	
国内学会	手術室看護師と病棟看護師の手術患者情報に対する認識の相違		釘内由香里,諏訪万恵,中村隼人,朝倉佑介,酒井明子		2014.12	第28回日本手術室学会		○	

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2014.12	酒井明子	福井市災害時要援護者避難行動	福井新聞
2014.12	酒井明子	最後の一人まで（3）	読売新聞
2014.12	酒井明子	最後の一人まで（4）	読売新聞

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	酒井明子	平成26年度科学研究費補助金（基盤研究（C））	文部科学省
2014.04	酒井明子	地（知）の拠点整備事業	文部科学省
2014.04	酒井明子	競争的配分経費	福井大学

学生氏名	高森 順子	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	災害体験の手記集の成立過程に関する一考察「阪神大震災を記録しつづける会」の事例から		高森順子・諏訪晃一		2014.06	実験心理学研究/日本グループ・ダイナミックス学会		○	
国内学会	被災地の定点観測を通じた震災学習の効果—「身構えの回復」—		高森順子・山口洋典・渥美公秀		2014.09	自然災害学会			
国内学会	震災手記集を通じた「書き手」と「読み手」の学び合い		高森順子		2014.10	災害復興学会			
国内学会	市民の震災アーカイブ活動の継続性に関する一考察—記憶を固定化する「記録」から、記憶を捉え続ける活動としての「記録」へ—		高森順子・渥美公秀		2014.09	日本グループ・ダイナミックス学会			
国際会議 (proc.なし)	A New Method of Learning About the Experiences of Disaster: A Case Study of Fixed-Point Photographs after the Great Hanshin-Awaji Earthquake		高森順子・山口洋典・渥美公秀		2014.10	The International Society for Integrated Disaster Risk Management I (DRiM)			
著書	震災を記録しつづけるということ		高森順子		印刷中	コミュニティ・アーカイブのつくりかた—複製技術時代の集団芸術—			

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2014.08	高森順子	阪神・淡路⇄東日本往復書簡 生々流転する記憶捉える	神戸新聞

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2015.03	高森順子	研究発表最優秀賞	次世代防災研究者連盟

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.10	高森順子・福岡孝則・槻橋修	生協総合研究所助成金	公益財団法人生協総合研究所

学生氏名	崎浜 公之	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	「過疎」地域における「復興」に関する現場研究 —新潟県中越地震の被災集落の事例から—	崎浜公之・関嘉寛・渥美公秀	2014.09	日本グループ・ダイナミクス学会第61回大会					
国内学会	「過疎」集落における「復興」に関する一考察 —新潟県中越地震から10年を迎えて— Disaster Recovery in a Depopulated Region —A Field Study of the 2004 Nigata Chuetsu Earthquake—	崎浜公之・渥美公秀・関嘉寛	2014.10	日本災害復興学会大会(2014・長岡)					
国際会議 (proc.あり)	Disaster Recovery in a Depopulated Region: A Field Study of the 2004 Nigata Chuetsu Earthquake	Kimiyuki Sakihama & Tomohide Atsumi	2014.10	Conference of the International Society for Integrated Disaster Risk Management (IDRIM 2014)					

学生氏名	大門 大朗	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	大学ボランティアセンターの存在がボランティア活動に与える影響 —3.11東日本大震災後の対応の比較から—	大門大朗	2014.09	日本自然災害学会					
国際会議	Can university volunteer centers be a new sector for disaster relief?	Daimon, H.	2014.11	Integrated Disaster Risk Management					

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2015.01	大門大朗	阪神淡路大震災20年 報道特別番組「キミに伝えたい」	讀賣テレビ放送

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2014.11	Daimon, H.	Young Scientist Award	Integrated Disaster Risk Management

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.05	大門大朗	大阪大学博士課程教育リーディングプログラム 独創的教育研究活動経費	大阪大学未来戦略機構

学生氏名	宮前 良平	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	支援者—被支援者のダイナミクス 障害者介助の現場を参考にして	宮前良平	2014.09	日本グループ・ダイナミクス学会					
国際学会 (proc.あり)	Disaster Recovery by Restoration of Photos Flooded by March 11 Tsunami.	Ryohei Miyamae, Tomohide Atsumi	2014.10	Conference on Integrated Disaster Risk Management.	○				
発表 (事例報告)	写真を返すこと、思い出を返すこと	宮前良平	2015.01	1.17被災地交流会					
報告書	未来へのメッセージ—志津川小学校避難所の59日間	宮前良平, 高原耕平, 崔美善, 三好裕貴, 木場安莉紗	2015.03	未来共生学第2巻					
エッセイ	めざす社会からすごす社会へ 「弱さの思想」をめぐって	宮前良平	2015.03	未来共生学第2巻					

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2015.01	宮前良平	防災カルタ楽しむ 西宮 NPO が1・17被災地交流会	毎日新聞
2015.02	宮前良平	チーム北リアス写真班と写真返却お茶会の紹介	エフエム岩手 (ラジオ)

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.07	宮前良平	独創的教育研究活動助成金	未来共生イノベーター博士課程プログラム

## 2-2-2. 行動学系

行動学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率	※在籍者には休学者を含む
	47 名	47 名	100 %	35 名	74.5 %	

指導教員	森川 和則	講座/研究分野	基礎心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	武藤 拓之	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	読解順序の任意性が文理解に及ぼす影響一線条性についての実証的研究一	武藤拓之	2014.09	日本心理学会第78回大会(京都), 2AM-1-095.	
学術論文(学会誌)	The effects of linearity on sentence comprehension in oral and silent reading	Muto, H.	2015.01 (online)	Japanese Psychological Research, 57. DOI: 10.1111/jpr.12079	○

指導教員	赤井 誠生	講座/研究分野	基礎心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	余根田 耕	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	目標プライミングによる潜在学習への影響	余根田 耕	2014.09	日本心理学会第78大会 3PM-2-010	

指導教員	篠原 一光	講座/研究分野	応用認知心理学
------	-------	---------	---------

学生氏名	田 飛	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議(proc.なし)	Pre-cueing of correct response enhances the Simon Effect	Fei Tian	2014.07	The 10th Asia-Pacific Conference on Vision (APCV 2014)	

学生氏名	北村 昭彦	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	Distribution of Attention in Augmented Reality: Comparison between Binocular and Monocular Presentation	Kitamura, A., Naito, H., Kimura, T., Shinohara, K., Sasaki, T., & Okumura, H.	2014.11	IEICE Transactions on Electronics, E97-C,1081-1088,	○
国内学会	拡張現実使用時の注意移動特性 空間手がかり法による両眼提示と単眼提示の比較	北村昭彦・内藤宏・木村貴彦・篠原一光	2014.09	日本心理学会大会発表論文集, 78, 640.	
国際学会(proc.あり)	The Superiority of Widespread Monocular Augmented Reality Presentation in a Manual Tracing Task	Kitamura, A., Naito, H., Kimura, T., Shinohara, K., Sasaki, T., & Okumura, H.	2014.12	Proceedings of The International Display Workshops, vol.21, DES3/VHF 5 - 4, 1337-1340.	○

### ○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2014.05	北村昭彦	小野奨学会 優秀者表彰	小野奨学会

学生氏名	藤井 達史	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	IVIS 機器操作に伴うドライバの精神的負担評価のためのマルチモーダル刺激検出課題の実車実験における妥当性検討	藤井達史・内藤宏・篠原一光・石川貴洋・松岡孝・石田健二・榎田享・朝尾隆文・鈴木哲, 小谷賢太郎	2014.07	自動車技術会論文集, Vol.45, No.4, 723-728.	○
国際会議(proc.あり)	The modulation of muscle activity for constant force control by the cognitive processes involved in response-conflict task	Tatsufumi Fujii, Hiroshi Naito, Kazumitsu Shinohara	2014.09	17th World Congress of Psychophysiology(Hiroshima)	○

学生氏名	山口 冬馬	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名 / 発表者名	発行年月 / 発表日	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審査
国内学会	指差しのプランニングによって生じる視覚的注意の経時的変化	山口冬馬・篠原一光	2014.11	関西心理学会	

指導教員	釘原 直樹	講座/研究分野	社会心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	上原 依子	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	内集団の規範順守率が自己犠牲行動の選択プロセスに与える影響	上原依子	2014.07	日本社会心理学会第55回大会					
国内学会	二分法的思考が過度の規範意識におよぼす影響—規範遵守率の異なる集団間比較の視点から—	上原依子	2014.10	日本パーソナリティ心理学会第23回大会					
国際学会 (proc.あり)	The activated money concept lead to an "idealization" of helpfulness.	Yoriko Uehara	2014.05	26th Annual Convention   Association for Psychological Science	○				

学生氏名	高原 龍二	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (紀要)	職場風土の短期的変化要因	高原龍二・宮本友介・釘原直樹	2014.04	対人社会心理学研究, 14, 53-60.					
学術論文 (学会誌)	日本における公立学校教員の年齢・職務満足関係: 教員労働組合員と民間労働組合専門職労働者の比較検討	高原龍二	2014.07	産業衛生学雑誌, 56, 91-101.	○				
学術論文 (学会誌)	公立学校教員の都道府県別精神疾患休職率の要因に関するマルチレベル SEM	高原龍二	印刷中	教育心理学研究, 63.	○				
発表 (口頭)	就業形態による労働意識の違いの検討	高原龍二・本田豊輔	2014.07	日本社会心理学会 第55回大会					
発表 (ポスター)	モノレール緊急停止時の案内方法による乗客の心理の違い—適切な案内方法の検討—	高原龍二・釘原直樹	2014.10	日本パーソナリティ心理学会 第23回大会					

学生氏名	曹 美庚	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	感情コミュニケーションと非言語チャネル: 日本人大学生を対象にした感情表示の分析を中心に	曹美庚・釘原直樹	2014.07	日本社会心理学会					
国内学会	感情コミュニケーションと非言語チャネル: 韓国人大学生を対象にした感情表示の分析を中心に	曹美庚・釘原直樹	2014.09	日本心理学会					

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	曹美庚	平成26年度科学研究費補助金(基盤研究C)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	武藤 麻美	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	精神障害者に対する心理的排除に影響を及ぼす不安定要因および理解度要因について—ビニエット調査によるサブタイプ化を媒介する要因の分析—	武藤麻美・釘原直樹	2015.03	病院・地域精神医学, 196号(予定)	○				
学術論文 (学会誌)	精神障害者に対する社会的距離に影響する要因—統合失調症患者への認知における帰属複雑性と曖昧さ耐性の効果の検討—	武藤麻美・釘原直樹	印刷中	応用心理学研究	○				
学術論文 (学会誌)	Psychological distance and likeability of in- or out-group targets who hold different opinions	Muto, M Kugihara, N Kohara, Y	印刷中	Psychologia, Vol. 58, No.1. (予定)	○				
国内学会	精神障害者に対する社会的認知に影響する要因—ビニエット調査を用いた個人内変数の検討—	武藤麻美・釘原直樹	2014.11	日本病院・地域精神医学会第57回大会(仙台), pp37.					

学生氏名	内田 遼介	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	スポーツ集合的効力感尺度の改訂・邦訳と構成概念妥当性の検討	内田遼介・町田萌・土屋裕睦・釘原直樹	2014.12	体育学研究	○				
国内学会	個々の集合的効力感と努力量の関連性に対する能力差の影響	内田遼介・釘原直樹・土屋裕睦	2014.07	日本社会心理学会第55回大会発表抄録集					
国内学会	わが国における Asch 型同調実験の30年ぶりの追試	釘原直樹・寺口司・内田遼介・阿形亜子	2014.07	日本社会心理学会第55回大会発表抄録集					
発表 (研究会)	個々の集合的効力感と努力量の関連性に対する能力差の影響	内田遼介	2014.05	第12回スポーツ動機づけ研究会					
発表 (研究会)	スポーツ集団における集合的効力感の集団内分散	内田遼介	2014.12	関西体育心理例会					

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	内田 遼介	平成26年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	寺口 司	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	加害時におけるラベリング行動:ゲーム場面におけるチーム名の決定による検討	寺口 司・釘原直樹	2014.07	日本社会心理学会第 55 回大会					
国内学会	わが国における Asch 型同調実験の 30 年ぶりの追試	釘原直樹・寺口 司・内田遼介・阿形亜子	2014.07	日本社会心理学会第 55 回大会					
国内学会	ラベリングが自身の攻撃行動の正当化に及ぼす影響	寺口 司・釘原直樹	2014.09	日本グループ・ダイナミクス学会第 61 回大会					
国内学会	選挙における加害行動への評価に対するラベリングと加害利益の影響	寺口 司・釘原直樹	2014.10	法と心理学会第 15 回大会					

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	寺口 司	平成 26 年度科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	正高 杜夫	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(紀要)	集団形成過程が内集団バイアスに及ぼす影響	正高杜夫・釘原直樹	印刷中	対人社会心理学研究, 第 15 号	○				

指導教員	佐藤 眞一	講座/研究分野	臨床死生学・老年行動学
------	-------	---------	-------------

学生氏名	高 宏	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	認知症の利用者に対する介護職員の感情的負担感に及ぼす有能感の影響	大庭輝, 高宏, 佐藤眞一	2014.07	日本認知症ケア学会誌	○				
国内学会	介護教育におけるコンピテンシーモデル応用の可能性	高宏	2014.06	日本老年社会科学会 56 回大会					
学術論文(年報)	介護教育におけるコンピテンシーモデル導入の意義	高宏	2015.02	生老病死の行動科学 20	○				

学生氏名	大庭 輝	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	認知症の利用者に対する介護職員の感情的負担感に及ぼす有能感の影響	大庭輝・高宏・佐藤眞一	2014.07	日本認知症ケア学会誌, 13(2), 482-489	○				
学術論文(学会誌)	高齢女性の健康関連生活習慣と幼少期における身体活動の関係	小島光洋・井原一成・大庭輝・吉田英世	印刷中	民族衛生	○				
学術論文(紀要)	認知症ケアにおける内発的動機づけ研究の提案—介護職員を対象とした研究の現状と課題から—	大庭輝	2014.03	生老病死の行動科学, 17/18, 79-89	○				
国内学会	介護職員の抱く認知症ケアの目標—職位・雇用形態別の比較—	大庭輝・高宏・豊島彩・久保田彩・豊田麻実・佐藤眞一	2014.05	第 15 回日本認知症ケア学会大会(東京)	○				
国内学会	実は楽しい認知症臨床	大庭輝・梨谷竜也・徳地奈津子・桑田直弥・藤田雄	2014.08	第 33 回日本心理臨床学会、自主シンポジウム企画・司会(神奈川)					
国内学会	介護施設職員の認知症に関する知識の普及度	大庭輝・数井裕光・佐藤眞一	2014.09	日本老年行動科学会第 17 回大会(東京)					
国内学会	子供の時のかけっことドッジボールの上手さ及びラジオ体操習慣の獲得は高齢期における大うつ病性障害発症の予防要因である	小島光洋・井原一成・飯田浩毅・長谷川千絵・鈴木友理子・石島英樹・端詰勝敬・吉田英世・大庭輝	2014.03	第 33 回社会精神医学会(東京)					
国内学会	高齢女性が記憶する幼少時の運動の運動能力と現在の健康と生活状況の関係について	小島光洋・大庭輝・井原一成・吉田英世	2014.03	第 12 回日本発育発達学会(大阪)					
国内学会	BDNF と基本チェックリスト、アパシー尺度の高齢うつ病に対するスクリーニング精度	井原一成・端詰勝敬・蜂須貢・大庭輝・長谷川千絵・天野雄一・飯田浩毅・金憲経・小島成美・吉田祐子・金美芝・鈴木隆雄・吉田英世	2014.11	第 73 回日本公衆衛生学会(栃木)					
国内学会	ケースレポート雑誌の発行目的と編集方針の調査	井原一成・長谷川千絵・大庭輝・小島光洋	2014.11	第 79 回日本民族衛生学会(茨城)					
著書	認知症ケア事例集～認知症ケア よりそうケアのすすめ方～	佐藤眞一監修	2014.03	大阪府					
報告書	介護職員が認知症ケアで感じる介護負担感の関連要因	大庭輝	2014.03	高齢者介護に関する調査報告書—日本介護福祉士会会員調査の結果から(平成 25 年度)—, 6-7					
シンポジウム企画	高齢者医療・福祉における心理職の意義と役割	大庭輝・梨谷竜也・佐藤眞一	2015.02	シンポジウム企画(大阪)					

## ○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.09	大庭輝	国立大学機能強化分 RA	大阪大学
2014.10	大庭輝	日本興亜福祉財団 2014 年度ジェロントロジー研究助成	日本興亜福祉財団
2014.11	大庭輝	大学院学生研究集会開催支援金	大阪大学大学院人間科学研究科 教育改革推進室

学生氏名	豊島 彩	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (紀要)	高齢者のソーシャルサポートの提供に対する評価の質的検討	豊島彩・佐藤真一	2014.03	生老病死の行動科学	○	
国内学会	高齢視覚障がい者の施設生活への適応過程の検討	豊島彩・佐藤真一・辻本耐	2015.03	日本発達心理学会第 26 回大会		
国際会議 (proc.あり)	The effect of visual function and personality on loneliness among centenarian: Findings from the Georgia centenarian study	Tovoshima, A., Martin, P., & Poon, L.	2014.07	20th International Centenarian Consortium		
国際会議 (proc.あり)	The effects of social support from older adults toward their children or partners on role identities: A longitudinal investigation.	Tovoshima A., Sato S, & Nakahara, J.	2014.11	The 67th Gerontological Society of America Annual Scientific Meeting	○	
国際会議 (proc.あり)	Does social support from older parents toward their children boost parental identities? A Longitudinal Investigation.	Tovoshima, A., Sato, S., & Nakahara, J.	2015.03	The 16th Society of Personality and Social Psychology Annual Meeting.	○	

## ○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.09	豊島彩	大阪大学未来基金グローバル化推進事業	大阪大学未来基金
2014.09	豊島彩	大阪大学人間科学研究科若手教員・大学院生等による国際研究交流プロジェクト	大阪大学人間科学研究科

学生氏名	梨谷 竜也	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
発表 (シンポジウム)	実は楽しい認知症臨床	大庭輝・徳地奈津子・藤田雄・桑田直哉・梨谷竜也	2014.08	日本心理臨床学会第 33 回大会		

学生氏名	松井 智子	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	Association between depressive symptoms and changes in sleep condition in the grieving process	Tanimukai, H., Adachi, H., Hirai, K., Matsui, T., Shimizu, M., Miyashita, M., ... & Shima, Y.	2014.12	Supportive Care in Cancer	○	
学術論文 (紀要)	がん患者のグループ療法に対する参加動機	松井智子・平井啓・松向寺真彩子・徳山まどか	2014.03	生老病死の行動科学	○	
国内学会	外来がん患者の心理的サポートサービスと援助要請行動に関する研究-医療スタッフを対象としたインタビュー調査より-	松井智子	2014.10	第 27 回日本サイコオンコロジー学会総会	○	
国内学会	がん患者の心理的サポートサービスに対する援助要請行動に関する研究	松井智子	2014.10	日本健康心理学会第 27 回大会,	○	
国内学会	もの忘れ検診受診意図における予測要因の検討:どのような人がもの忘れ検診を受けるのか?	谷口敏淳・松井智子・竹田伸也・田治米佳世	2014.11	第 21 回日本行動医学会学術総会	○	
国際会議 (proc.なし)	Problems, Goals, and Solutions Reported by Cancer Patients Participating in Group Problem-Solving Therapy	Tomoko Matsui, Kei Hirai, Masako Shokoji, Madoka Tokuyama et al.,	2014.10	16th World Congress of Psycho-Oncology and Psychosocial Academy	○	
発表 (研究会)	がん患者の心理的サポートサービスと援助要請行動に関する研究-医療スタッフを対象としたインタビュー調査より-	松井智子	2014.03	日本コミュニティ心理学会主催 平成 25 年度研修会	○	

## ○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.09	松井智子	若手教員・大学院生等による国際研究交流プロジェクト	大阪大学人間科学研究科
2014.09	松井智子	国立大学機能強化分	大阪大学人間科学研究科
2014.12	松井智子	博士課程学生海外支援事業 (学長リーダーシップ枠)	大阪大学
2014.12	松井智子	平成 26 年度研究助成	公益財団法人上廣倫理財団

学生氏名	春日 彩花	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (紀要)	幼児期後期・学童期前期における自閉症スペクトラム児の療育プログラム開発—集団でおこなう見立て活動とごっこ遊びを取り入れたプログラム—	春日彩花・藤戸麻美・安田祥子・松本梨沙・小島拓・古田絵理・富井奈菜実・中原咲子・荒木美知子・竹内謙彰・荒木徳積	2015.02	立命館人間科学研究, 31, pp35-52	○				

学生氏名	久保田 彩	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (紀要)	高齢者施設の介護職員による看取りケア行動の内容検討—教科書の内容分析を用いて—	久保田 彩	2015.03	生老病死の行動科学, 19, 印刷中	○				
国際会議 (proc.なし)	Care workers' efficacy for End of Life Care at facilities for the elderly in Japan: Focusing on the care experiences	Kubota. S	2014.06	The 10th International Conference on Grief and Bereavement in Contemporary Society, (Hong Kong, China)	○				
国際会議 (proc.なし)	The reliability and validity of the Death Anxiety Scale Short Version	Tsujimoto. T, Kubota. S	2014.06	The 10th International Conference on Grief and Bereavement in Contemporary Society ( Hong Kong, China)	○				
国際会議 (proc.なし)	Measuring Staff's End-of-Life Care Efficacy in Elderly Care Facilities in Japan	Kubota. S, Sato. S.	2014.11	The 67th Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America., Washington, DC, U.S.A.	○				
国際会議 (proc.なし)	How to Improve Staff's End-of-Life Care Efficacy in Elderly Care Facilities in Japan	Kubota. S, Sato. S.	2014.11	The 67th Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America., Washington, DC, U.S.A.	○				
報告書	看取りケアに対する姿勢に関する研究	佐藤眞一・豊田麻実・大庭輝・久保田彩	2014.04	高齢者介護に関する調査報告書 日本介護福祉士会会員調査の結果から(平成 25年度), 8-10.					

学生氏名	小園 麻里菜	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	高齢者の余暇活動における認知的、身体的、社会的要素と認知機能との関連	小園麻里菜・権藤 恭之・小川まどか・石岡良子・増井幸恵・稲垣宏樹・中川威・立平 起子	2014.09	日本心理学会第 78 回大会					
国内学会	後期高齢者及び超高齢者における精神的健康の地域差の検討	稲垣宏樹・増井 幸恵・権藤恭之・石岡良子・中川 威・小園麻里菜・小川まどか・高山 緑・高橋龍太郎	2014.09	日本心理学会第 78 回大会					
国際会議	Leisure activity in the centenarian and oldest old.	Marina Kozono・Yasuyuki Gondo	2014.05	International Centenarian Consortium					
発表 (学会研究会)	超高齢者の認知機能評価	小園麻里菜・権藤 恭之	2015.03	第 11 回認知心理学会高齢者心理研究部会					
報告書 (地方自治体)	超高齢者生活実態調査(予定)	権藤 恭之・小園麻里菜	2015.03	超高齢者生活実態調査(予定)(自治体 A)					
報告書 (地方自治体)	超高齢者生活実態調査(予定)	権藤 恭之・小園麻里菜	2015.03	超高齢者生活実態調査(予定)(自治体 B)					

指導教員	臼井 伸之介	講座/研究分野	安全行動学
------	--------	---------	-------

学生氏名	岡 真裕美	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	救急搬送データにおける 6 歳から 12 歳児童の事故の分析	岡真裕美・安達悠子・中井宏・臼井伸之介	2014.12	平成 26 年度日本人間工学会中国・四国支部, 関西支部合同大会	○				
国内学会	小学校における安全教育プログラム「校内版ひなどり」の実践	中井宏・岡真裕美・臼井伸之介	2014.12	平成 26 年度日本人間工学会中国・四国支部, 関西支部合同大会	○				

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2014.10	岡 真裕美	茨木市内小学校での安全教育プログラム「校内版ひなどり」の取り組み内容が紹介された。	朝日新聞大阪北摂版
2014.09	岡 真裕美	茨木市内小学校での安全教育プログラム「校内版ひなどり」の取り組み内容が紹介された。	毎日新聞大阪北摂版

学生氏名	山田 健太	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	ヴィジランス課題における会話の影響: 聴取・思考・発声に着目して	山田健太・白井伸之介	2014.06	日本人間工学会第 55 回大会	○				
国内学会	ヴィジランス課題における会話の影響: 認知的負荷に着目して	山田健太・白井伸之介	2014.12	平成 26 年度日本人間工学会中国・四国支部、関西支部合同大会	○				
国内学会	船舶運航シミュレータにおけるチェックリスト課題が覚醒水準に与える影響	小西宗・瀧真輝・白井伸之介・山田健太・藤本昌志・廣野康平	2014.12	平成 26 年度日本人間工学会中国・四国支部、関西支部合同大会	○				
国際会議 (proc.あり)	The Effect of Conversation on Arousal Level: Using Vigilance Task	Kenta YAMADA, Shinnosuke USUI	2014.07	28th International Congress of Applied Psychology	○				
発表 (一般社団法人研究発表会)	覚醒水準低下に対する会話の影響: ドライビングシミュレータを用いて	山田健太・白井伸之介	2014.12	交通科学研究会平成 26 年度研究発表会	○				

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2014.09	山田健太	優秀研究発表奨励賞	日本人間工学会
2014.12	山田健太	優秀発表賞	交通科学研究会
2015.02	山田健太	優秀発表賞	日本人間工学会関西支部

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.05	山田健太	大学院学生国際学会海外派遣支援金	大阪大学大学院人間科学研究科教育改革推進室

指導教員	金澤 忠博	講座/研究分野	比較発達心理学
------	-------	---------	---------

学生氏名	井崎 基博	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	学齢期低出生体重児における単語音読時の視線の動き	井崎基博、金澤忠博、日野林俊彦、北島博之、ほか	2014.05	第 40 回日本コミュニケーション障害学会	○				
国内学会	質問一応答場面における子どもの視線の動き	井崎基博、金澤忠博、鎌田次郎、日野林俊彦	2015.03	日本発達心理学会第 26 回大会					
国際会議 (proc.あり)	The Cognitive Correlates of Word Reading or Reading Comprehension in Very-Low-Birth-weight Children	Isaki, M., Kanazawa T, Kitajima H.	2014.11	65th International Dyslexia Association Annual Reading, Literacy & Learning Conference	○				
発表 (研究会)	視線計測を用いた低出生体重児の ASD 特性の理解	井崎基博	2014.06	小児発達臨床研究会					
発表 (研究会)	学齢期における極低出生体重児の読み能力とその支援	井崎基博、金澤忠博、鎌田次郎、日野林俊彦	2014.06	第 32 回ハイリスク児フォローアップ研究会					
発表 (セミナー)	gaze behavior and autistic traits in very-low-birth-weight children	Isaki M.	2014.07	大阪大学国際共同研究促進プログラム: 超高齢期高齢者のサクセスフルエイジングを支援する介護福祉サービスの開発に向けた認知科学的・老年社会学的研究第 2 回セミナー					
発表 (話題提供)	極低出生体重児の認知特性を配慮したアセスメントと支援	井崎基博	2015.03	日本発達心理学会第 26 回大会 ラウンドテーブル「極低出生体重児の発達アセスメントと支援の方向 2」					

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	井崎基博	平成 26 年度科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	永井 祐也	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	小児がん患児の復学における地元校の担任教員が行う配慮・支援—文献検討を通して—	永井祐也・川内絵莉子・岡本光代	2014.08	日本育療学会第 18 回学術集会					
国内学会	PECS が自閉症スペクトラム障害児の社会コミュニケーションに及ぼす効果	永井祐也・金澤忠博・日野林俊彦	2014.09	日本心理学会第 78 回大会					
国内学会	小児がん患児の復学における「困難さ」に関する文献検討	川内絵莉子・永井祐也・岡本光代・竹田一則	2014.09	心身ストレスに関する学術研究集会 2014					
国内学会	成功体験が自閉症スペクトラム障害児の自尊感情に及ぼす効果—個別の指導計画に基づいた家庭訪問による学習支援を通して—	永井祐也	2014.09	日本特殊教育学会第 52 回大会					
国内学会	PECS が自閉症スペクトラム症児の共同注意に及ぼす効果—アイトラッカーによる視線行動の測定から—	永井祐也・金澤忠博・前田早紀・日野林俊彦	2015.03	日本発達心理学会第 26 回大会					
研究会発表	PECS の訓練が ASD 児の社会コミュニケーションの獲得に及ぼす効果	永井祐也	2014.06	小児発達臨床研究会					

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	永井祐也	平成 26 年度 科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

指導教員	志村 剛	講座/研究分野	行動生理学
------	------	---------	-------

学生氏名	山口 恵里菜	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	摂食抑制作用のあるペプチド YY はマウスにおける味覚嫌悪学習の無条件刺激にはならない	山口恵里菜・八十島安伸・志村剛	2014.12	日本味と匂学会誌 21 巻 3 号	○
国内学会	むちゃ食い様過剰摂食行動を示すマウスでは血中ペプチド YY 濃度が低下する	山口恵里菜・八十島安伸・志村剛	2014.09	第 37 回日本神経科学大会(横浜), P3-200	
国内学会	摂食抑制作用のあるペプチド YY はマウスにおける味覚嫌悪学習の無条件刺激にはならない	山口恵里菜・八十島安伸・志村剛	2014.10	第 48 回日本味と匂学会大会(静岡), P-055	
国内学会	末梢ペプチド YY 投与による中脳ニューロン活性: 摂食後要因への効果	山口恵里菜・八十島安伸・志村剛	2015.03	第 92 回日本生理学会大会(神戸)	

学生氏名	西岡 春奈	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	味覚関連行動におけるドーパミントランスポーター遺伝子変異の影響	西岡春奈, 山口恵里菜, 八十島安伸, 志村剛	2014.12	日本味と匂学会誌 21 巻 3 号 Pp.315-318	○
国内学会	Altered glucostatic control of food intake in mice with daily intermittent access to sugar.	Haruna ishioka, Erina Yamaguchi, Yasunobu Yasoshima, Tsuyoshi Shimura	2014.09	第 37 回日本神経科学大会, P3-201	
国内学会	Taste-related behaviors in mice carrying mutated dopamine transporter gene.	Haruna Nishioka, Erina Yamaguchi, Yasunobu Yasoshima, Tsuyoshi Shimura	2014.10	日本味と匂学会第 48 回大会, P-054	
国内学会	Effect of intermittent sucrose intake for several weeks on central glucose-sensing system in mice	Haruna Nishioka, Erina Yamaguchi, Yasunobu Yasoshima, Tsuyoshi Shimura	2015.03	第 92 回 日本生理学会大会, P2-397	

指導教員	足立 浩平	講座/研究分野	行動統計科学
------	-------	---------	--------

学生氏名	橋本 翔	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	個体の分類と因子負荷量の解釈容易化を目指した同時回転法	宇野光平・橋本翔・足立浩平	2014.11	日本計算機統計学会第 28 回 シンポジウム	
国際会議 (proc なし)	Variable selection via common and specific factors for dimension reduction	Sho Hashimoto	2014.11	Kyoto International Conference on Modern Statistics in the 21st Century	

学生氏名	池本 大樹	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	核配列のスパース性を制約した三相主成分分析	池本大樹・足立浩平	2014.03	第 8 回日本統計学会春季集会 (京都), ポスターセッション.	
国内学会	成分間のリンク数を制約した三相 Tucker2 分析	池本大樹・足立浩平	2014.05	日本計算機統計学会 第 28 回大会 (東京).	
国内学会	核配列の零要素数を制約した Tucker2 主成分分析	池本大樹・足立浩平	2014.09	日本行動計量学会 第 42 回大会 (宮城), CE4-1.	
国際会議 (proc.なし)	ScTucker3: Three-Mode Sparse Principal Component Analysis Subject to the Constrained Cardinality of a Core Matrix	Ikemoto, H., & Adachi, K.	2014.07	The 3rd Institute of Mathematical Statistics Asia Pacific Rim Meetings (台湾), CP02.	
国際会議 (proc.なし)	Sparse Three-Mode Principal Component Analysis with Penalized Alternating Least Squares Algorithm	Ikemoto, H.	2014.11	Kyoto International Conference on Modern Statistics in the 21st Century (京都), Poster session.	

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2014.03	池本大樹	学生優秀発表賞	日本統計学会

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.07	池本大樹	平成 26 年度(第 1 回)「若手研究者支援事業」	大阪大学未来基金

学生氏名	斉藤 光平	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (研究会)	群サイズを固定した個体判別法	斉藤 光平	2015.02	第 30 回大規模データ科学研究会	

学生氏名	高橋 諒	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	L1 ノルム正則化を用いた次元縮約 K 平均クラスタリング	高橋 諒	2014.03	第 8 回日本統計学会 (京都)	
国際学会 (proc.なし)	K-means clustering in an interpretable low-dimensional space	Takahashi. R	2014.06	The 3 <sup>rd</sup> Institute of Mathematical Statistics Asia Pacific Rim Meeting (Taipei, Taiwan)	○
国際学会 (proc.あり)	Reduced K-means with sparse loadings	Takahashi. R	2014.08	The 21 <sup>st</sup> International Conference on Computational Statistics (Geneva, Switzerland)	○
国内学会	縮約空間における外乱個体の検知法	高橋 諒	2014.09	日本行動計量学会 第 42 回大会 (仙台)	
国内学会	高次元データの分類と解釈可能性	高橋 諒	2014.09	日本心理学会 第 78 回大会 (京都)	
国際学会 (proc.なし)	Feature Selection in K-means via Penalized Matrix Decomposition	Takahashi. R	2014.11	Kyoto International Conference on Modern Statistics in the 21 <sup>st</sup> Century (Kyoto)	
学術論文 (学会誌)	個体間制約を伴う K 平均クラスタリング-置換行列を用いたアルゴリズム	高橋 諒・牧野 直道	2015.01	日本計算機統計学 第 28 巻 1 号	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014. 05	高橋 諒	大学院学生国際学会海外派遣支援金	大阪大学大学院人間科学研究科教育改革推進室
2014. 08	高橋 諒	論文等の外国語校正支援	大阪大学大学院人間科学研究科教育改革推進室

学生氏名	宇野 光平	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	個体のメンバーシップ制約を伴う行列分解型因子分析	宇野光平	2013.11	日本計算機統計学会第 27 回シンポジウム (熊本), pp. 61-64	
国内学会	スパース因子分析を伴うクラスタリング	宇野光平	2014.05	日本計算機統計学会第 28 回大会 (東京)	
国内学会	クラスタリングを伴う母数因子分析の交互反復解法	宇野光平, 足立浩平	2014.09	日本行動計量学会第 42 回大会 (仙台)	
国内学会	因子の不確定性を利用したクラスター化因子得点のプロクラステス同定	宇野光平, 足立浩平	2014.09	2014 年度統計関連学会連合大会	
国内学会	個体の分類と因子負荷量の解釈容易化を目指した同時回転法	宇野光平, 橋本翔, 足立浩平	2014.11	日本計算機統計学会第 28 回シンポジウム (沖縄)	
国際会議 (proc.なし)	Data-fitting Factor Analysis with Membership Constraints on Factor Score	Uno K.	2014.07	The 3 <sup>rd</sup> Institute of Mathematical Statistics Asia Pacific Rim Meeting, (Taipei)	○
国際会議 (proc.なし)	Clustered Factor Score Identification	Uno K., Adachi K.	2014.11	Kyoto International Conference on Modern Statistics, (Kyoto)	
国際会議 (proc.なし)	Fixed Factor Analysis with Clustering Observations	Uno K., Adachi K.	2014.12	7th Int. Conference of the ERCIM WG on COMPUTATIONAL AND METHODOLOGICAL STATISTICS	○
発表 (研究会)	因子分析の判別利用	宇野光平	2014.02	平成 25 年度統計数理研究所共同研究「複雑データの解析法に関する研究会」	

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2013.11	宇野 光平	学生研究発表賞	日本計算機統計学会
2014.05	宇野 光平	学生研究発表賞	日本計算機統計学会

学生氏名	中村 裕子	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	数量化を伴う順序データの三相主成分分析法	中村裕子	2014.03	第 8 回日本統計学会春季集会 (京都)	
国内学会	順序データの数量化を用いた三相主成分分析	中村裕子	2014.05	日本計算機統計学会 第 28 回大会 (東京)	
国内学会	非計量 TUCKALS - 数量化, 単調回帰, 三相主成分分析の交互反復-	中村裕子	2014.09	日本行動計量学会 第 42 回大会 (宮城)	
国内学会	数量化を用いた非計量三相主成分分析法	中村裕子	2014.09	日本心理学会第 78 回大会 (京都)	
国際会議 (proc.なし)	Nonmetric Three-Way PCA with Optimal Scaling	Nakamura, Y.	2014.11	Kyoto International Conference on Modern Statistics	

指導教員	中道 正之	講座/研究分野	比較行動学
------	-------	---------	-------

学生氏名	勝 野 吏子	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	Development in the usage and comprehension of greeting calls in a free-ranging group of Japanese macaques ( <i>Macaca fuscata</i> )	Noriko Katsu, Kazunori Yamada, and Masayuki Nakamichi	2014.07	Ethology, 120: 1024-1034	○	
学術論文 (学会誌)	嵐山・幸島におけるニホンザルの死産の報告	勝 野 吏子・鈴木崇文・山田一憲・中道正之	2014.08	霊長類研究, 30: 163-172	○	
国内学会	ニホンザルにおける敵対的交渉後場面の親和的交渉に伴う音声行動	勝 野 吏子・山田一憲・中道正之	2014.07	第 30 回日本霊長類学会		
国内学会	Effects of conflicts and combatant status on post-conflict greeting call usage in Japanese macaques	Noriko Katsu, Kazunori Yamada, and Masayuki Nakamichi	2014.07	第 74 回日本動物心理学会		
国際会議 (proc.なし)	Development of usage and response to vocalizations mediating social interactions in Japanese macaques	Noriko Katsu, Kazunori Yamada, and Masayuki Nakamichi	2014.08	The 25 th Congress of the International Primatological Society	○	
研究会発表	敵対的交渉後場面におけるあいさつ音声の発声に及ぼす要因	勝 野 吏子・山田一憲・中道正之	2014.06	第 14 回ニホンザル研究セミナー		

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	勝 野 吏子	平成 26 年度 科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	河野 穂夏	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会 (ポスター)	飼育アビシニアコロブス集団におけるメスの繁殖状態の推定と子の発達	河野穂夏・山田一憲・中道正之	2014.07	第 30 回日本霊長類学会大会		
発表 (ポスター)	社会行動に基づいた飼育アビシニアコロブスの妊娠推定	河野穂夏・山田一憲・中道正之	2014.06	第 14 回ニホンザル研究セミナー		

2-2-3. 社会学系

社会学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率	※在籍者には休学者を含む
	72 名	68 名	94.4 %	34 名	47.2 %	

指導教員	友枝 敏雄	講座/研究分野	社会学理論
------	-------	---------	-------

学生氏名	平野 孝典	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	高校生の逸脱への憧れと校則意識	平野孝典	2014.05	第 65 回関西社会学会大会	
国内学会	日常生活場面における規範意識と規範行動	杉村健太・平野孝典	2014.05	第 65 回関西社会学会大会	

学生氏名	杉村 健太	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	日常生活場面における規範意識と規範行動	杉村健太、平野孝典	2014.05	第 65 回関西社会学会大会	

学生氏名	多田限 翔一	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	高校生の地位達成志向と自己充足志向の変化	多田限翔一・友枝敏雄	2014.05	関西社会学会第 65 回大会 (富山大学)	

学生氏名	平松 誠	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	高校生の職業観と非正規雇用リスク認知	平松誠・久保田裕之	2014.05	第 65 回関西社会学会大会 (富山)	

学生氏名	川本 悟士	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Niklas Luhmann, Love: A Sketch, Polity, [2008]2010.	川本悟士	2015.03	『年報人間科学』第 36 号	
報告書	高校生の友人関係への一視角 ——3つの問いに注目して	川本悟士	2014.08	2013 年度～2015 年度科学研究費補助金 [基礎研究(B)](課題番号 25285149) 2014 年度報告書「高校生の規範意識—第 3 回高校生調査(福岡・大阪・東京)—計量分析 第二次報告」	

学生氏名	田中 隆介	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	John Coakley, Nationalism, Ethnicity and the State: Making and breaking nations, SAGE, 2012	田中隆介	2015.03	『年報人間科学』第 36 号	
報告書(大学)	高校生の学歴観とその規定要因	田中隆介	2014.08	2013 年度～2015 年度科学研究費補助金 [基礎研究(B)](課題番号 25285149) 2014 年度報告書「高校生の規範意識—第 3 回高校生調査(福岡・大阪・東京)—計量分析 第二次報告」	

指導教員	稲場 圭信	講座/研究分野	現代社会学
------	-------	---------	-------

学生氏名	大久保 将貴	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	介護職員の離職要因	大久保将貴	2014.06	福祉社会学会	
国際会議 (proc.なし)	Revisiting Path Dependence in Welfare States: Regressive Taxation, Welfare Spendings and Happiness	OKUBO, Shoki	2014.07	ISA	
発表	Variation in the Wage Premium across Care Worker's Earnings Distribution: Estimating Quantile Treatment Effects	OKUBO, Shoki	2014.10	関西計量社会学研究会	
国内学会	Estimation of Conditional and Unconditional Quantile Treatment Effects: Evidence from Care Worker's Earnings Distribution in Japan	OKUBO, Shoki	2015.03	数理社会学会	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	大久保将貴	科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

指導教員	川端 亮	講座/研究分野	経験社会学
------	------	---------	-------

学生氏名	樋口 麻里	学年	DC3
------	-------	----	-----

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2014.11	樋口麻里	社会調査協会賞 (『社会と調査』賞)	一般社団法人 社会調査協会

学生氏名	狭間 諒多朗	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名 / 発表者名	発行年月 / 発表日	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審査
学術論文 (年報)	階層帰属意識の規定要因としての社会移動—主観的社会移動が捉える2つの経路	狭間諒多朗・谷岡謙	2015.03	年報人間科学, 第36号	○
発表 (研究会)	主観的社会移動が階層帰属意識に与える影響	狭間諒多朗・谷岡謙	2014.04	第4回 SSP プロジェクト全体会議	
著書	第7章「全国調査データでみる地域文化活動の「平均像」	狭間諒多朗・吉川徹	2014.09	荻谷剛彦編「「地元」の文化力」, 河出書房新社 Pp.171-193.	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	狭間 諒多朗	平成26年度科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	坂口 恵莉	学年	MC2
------	-------	----	-----

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.07	坂口恵莉	大阪大学博士課程教育リーディングプログラム 平成26年度独創的教育研究活動経費	大阪大学未来戦略機構第五部門「未来共生イノベーター博士課程プログラム」

指導教員	吉川 徹	講座/研究分野	社会データ科学
------	------	---------	---------

学生氏名	伊藤 理史	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審査
国内学会	生活保護の規定要因	伊藤理史・永吉希久子	2014.06	福祉社会学会第12回大会 (東京)	
国内学会	戦後日本における政治参加の長期的趨勢—エリート対抗型政治参加は増加したのか?	伊藤理史	2015.03	数理社会学会第59回大会 (久留米)	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	伊藤 理史	平成26年度科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	谷岡 謙	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審査
学術論文 (年報)	階層帰属意識の規定要因としての社会移動—主観的社会移動が捉える2つの経路	狭間諒多朗・谷岡謙	2015.03	年報人間科学 第36号	○
発表 (研究会)	主観的社会移動が階層帰属意識に与える影響	狭間諒多朗・谷岡謙	2014.04	SSP プロジェクト全体会議 (第4回)	
報告書 (大学/研究所等)	高学歴継承が若年層の意識に及ぼす影響	谷岡 謙	2014.03	『家庭環境から見た若年者の就業とライフスタイルに関する二次分析—公的統計の匿名データと社会調査の個票データを利用して』, 東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター、Pp.203-215	

学生氏名	橋爪 裕人	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審査
発表	第1回 SSP 調査 CAPIシステムの機材操作説明	橋爪裕人	2014.11	SSP 研究会拡大幹事会	

学生氏名	中村 将大	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審査
発表 (研究会)	高校生の教育期待に対する出身階層の影響力の変容	中村将大	2014.06	関西計量社会学研究会	
発表 (研究会)	学校外教育と教育達成 (仮)	中村将大	2015.03	東京大学二次分析研究報告会	

指導教員	牟田 和恵	講座/研究分野	コミュニケーション社会学
------	-------	---------	--------------

学生氏名	河合 翔	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	脳性麻痺による身体運動と現勢的な運動の現象学的考察—メルロ＝ポンティの身体図式から生まれる当事者研究—	河合 翔	2014.05	人体科学, 23, 1, 31-40	○
学術論文 (学会誌)	「障害と身体現象学」という可能性—当事者が語る脳性まひの身体論	河合 翔	2014.09	メルロ＝ポンティ研究, 18, 53-64	○
著書	第7章「<意のままにならない身体>との相互行為—文楽における身体言語を手がかりにして	河合 翔	2014.09	藤川信夫編「教育／福祉という舞台」, 大阪大学出版会 Pp140-162	○

学生氏名	鈴木 彩加	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	<犠牲者>から<右傾化したフェミニズム>へ—米国右派女性に対するフェミニストのまなざし—	鈴木彩加	2014.06	日本女性学会	
国際学会	Women's Extreme Right Movements in Japan: Hatred toward Comfort Women	Ayaka SUZUKI	2014.08	Women's World Congress 2014	○
国内学会	主婦たちの男女共同参画反対運動	鈴木彩加	2014.08	日本社会分析学会	
学術論文	保守運動と「家族の価値」に関する一考察	鈴木彩加	2014.12	『女性・戦争・人権』第13号	○
研究ノート	米国右派女性に関するフェミニズム研究の展開—<犠牲者>から<右派フェミニスト>へ	鈴木彩加	2015.03	『女性学』第22号	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.07	WISH (女性と制度と歴史研究会、荒木菜穂・鈴木彩加・関めぐみ・堀あきこ)	第18回団体研究助成	東海ジェンダー研究所

学生氏名	玉城 福子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	沖縄県平和祈念資料館展示改ざん事件の再考	玉城福子	2014.12	女性・戦争・人権, 13, 52-74.	○
学内学会	ポストコロナリズム×フェミニズムからの沖縄研究再考	玉城福子	2014.06	日本女性学会	○

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2015.01	玉城福子	ポストコロナリズムに関する書籍の紹介	琉球新報

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	玉城福子	平成26年度 科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	HONG JUNG EUN	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内会議 (学会)	韓国の徴兵制と在日コリアン「国民」の構成をめぐる包摂と排除の政治学	洪ジョンウン	2014.06	第18回国際高麗学会日本支部学術大会(大阪)	○
国際会議 (proc.あり)	Korean Diaspora Women's Practices of Mothering in Japan	HONG, J.	2014.07	The 1st AAS-in-Asia Conference(Singapore)	○
国際会議 (proc.あり)	Appearance of New Female Subjects in Mothers' Associations of Korean Schools in Japan	HONG, J.	2014.08	The 12th Women's World Conference(Hyderabad, India)	○
発表	女性同盟とオモニ・アイデンティティ—1960年代民族運動に参加した大阪府在日朝鮮人女性たちのオーラル・ヒストリーから	洪ジョンウン	2014.09	朝鮮史研究会関西西部会 2014年9月例会(大阪)	
発表	在日コリアンの視点から韓国の兵役法を考える	洪ジョンウン	2014.10	複合差別研究会(大阪)	
報告書	在日コリアンの家庭に眠る歴史資料発掘事業	金和子、李明哲、ソンミギョン、洪ジョンウン	2015.01	韓国学中央研究院(韓国)	
報告書	嫌韓現象による在日同胞社会の衝撃に関する研究	Kim Woong-gi (責任研究員)他	2015.02	在外同胞財団(韓国)	
その他 (大学)	戦後日韓の人々の生存と移動を追って—『海を越えた初恋 1989、スミダの記憶』『ノガダ』の上映会&トーク	金ジュナ、徐潤雅、中村友樹、洪ジョンウン	2014.01	大阪大学日本学科学研究科学生企画	

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2014.07	洪ジョンウン	明日に向かって撃っちゃうよーチマチョゴリと私	K-magazine 第31号

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.07	HONG JUNG EUN	国際研究集会参加旅費助成	公益信託澁澤民族学振興基金

学生氏名	元山 琴菜	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	「カミングアウトされた家族」から「非異性愛者をもつ家族」になることとは「家族崩壊」に対応する母親役割に着目してー	元山琴菜	2014.10	家族社会学研究, 26,2, 114-126.	○
書評	三部倫子著書『カムアウトする親子ー同性愛と家族の社会学』	元山琴菜	2015.03	女性学, 22, 104-107.	○
国際会議 (proc.あり)	The Reaction of Mothers of Non-heterosexual Children and their Roles: Gendered Response to Coming Out	Motoyama. K	2014.07	International Sociological Association 2014	○
国際会議 (proc.あり)	Overcoming Heteronormativity?! The Experiences of Families of Non-heterosexual Member in Japan	Motoyama. K	2014.08	World Women's Congress 2014	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.06	元山琴菜	2014年度竹村和子フェミニズム基金助成	一般財団法人竹村和子フェミニズム基金

学生氏名	尾崎 俊也	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	James W. Messerschmidt, Gender Heterosexuality and Youth Violence: The Struggle For Recognition	尾崎俊也	2014.03	未来共生学 第1号,382-385.	
報告書 (大学)	野田村班 協同的実践への挑戦ー「のだむラジヲ」を通じて	趙孝川・小林碧・尾崎俊也・坂口 恵莉・森中孝太郎	2014.03	未来共生プログラム東日本大震災被災地復興フィールドワーク報告書,89-139.	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	尾崎 俊也	大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム奨励金	大阪大学未来戦略機構

学生氏名	三品 拓人	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	"Future Families: Diverse Forms, Rich Possibility"	三品拓人	2015.03	年報人間科学	

指導教員	辻 大介	講座/研究分野	コミュニケーション社会学
------	------	---------	--------------

学生氏名	和田 敬	学年	DC3
------	------	----	-----

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2015.01	和田敬	鈴木みどりメディア・リテラシー研究基金 第9回研究助成金	FCT メディアリテラシー研究所

学生氏名	UDRIS REINIS	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
Academic articles	Cyberbullying among high school students in Japan: Development and validation of the Online Disinhibition Scale	Reinis Udris	2014.12	Computers in Human Behavior	○
Distributed paper presentation	Online Disinhibition As a Predictor of Cyberbullying Among Adolescents	Reinis Udris	2014.07	XVIII ISA World Congress of Sociology	

学生氏名	妹尾 麻美	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	就職活動過程における自己意識の変容	妹尾麻美	2014.05	関西社会学会	
国際会議 (proc.あり)	"What I Want to Do" As a Form of Strategy to Survive on the Job- Hunting Process	妹尾麻美	2014.07	International Sociological Association	○
学術論文 (学会誌)	新規大卒就職活動において『やりたいこと』は内定取得に必要なか?	妹尾麻美	2015.02	ソシオロジ	○

学生氏名	藤澤 優	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Simon Lindgren New Noise: A Cultural Sociology of Digital Disruption Peter Lang Publishing, 2013.	藤澤優	2015.03	年報人間科学	

指導教員	Robert Scott North	講座/研究分野	文化社会学
------	--------------------	---------	-------

学生氏名	SZCZYGIEL Marta Elzbieta	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.なし)	From night soil to washlets – toilets and sanitation in Japan.	Marta Szczygiel	2014.09	The 3 <sup>rd</sup> GRIPS Student Conference: Toward Sustainable Development: Challenges for Global Leaders. (Tokyo)	

○受賞

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2014.10	Marta Szczygiel	2014年度日本語エッセーコンテスト最優秀賞	京都国際文化協会

指導教員	山中 浩司	講座/研究分野	文化社会学
------	-------	---------	-------

学生氏名	野島 那津子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	「病気」と見なされにくい病を生きることの困 難:筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群の病气行 動に着目して	野島那津子	2014.10	家計経済研究, 104, 10, 60-69.	○
学術論文 (学会誌)	十分に医療化されていない疾患を患うことの 困難と診断の効果:痙攣性発声障害を患う人々 の語りから	野島那津子	2015.03	ソシオロジ, 182, 59(3)	○
国際会議 (proc.なし)	Paradox of diagnosis: The positive effects and limits of diagnosis in ME/CFS and FM patients	Nojima N.	2014.09	BSA Medical Sociology Annual Conference, (Birmingham)	○
発表 (研究会)	診断名のパラドクス	野島那津子	2015.01	第158回現場力研究会	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	野島 那津子	平成26年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	岩井 恵子	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	社会参加高齢者における健康観と保健行動は 何か	和田幸子、平尾恭子、 岩井恵子他	2014.03	日本生活支援学会誌 vol 3	○
学術論文 (紀要)	高齢者 SP (simulated Patient) の養成の課題	鹿島英子、吉村牧子、 岩井恵子他	2015.03	関西医療大学紀要 vol 8	○
国内学会	認知症とともに超限界集落で暮らす高齢者支 える要因の分析	岩井恵子、吉村牧子、 紀平為子他	2014.06	日本老年看護学会第19回学術集会	○
国内学会	超限界集落の成り立ちと存続の要因 和歌山県山間村落の構造と生活の変遷	岩井恵子	2014.06	日本老年社会学会第56回大会	○
国内学会	成人の運動習慣を継続するための支援プログ ラムの検討 参加者の認識	石野レイ子、伊井みず 穂、岩井恵子	2014.07	日本慢性看護学会第8回学術集会	○
国内学会	模擬患者を導入したロールプレイング演習プ ログラムの検討	築田誠、岩井恵子、石 野レイ子他	2014.07	日本看護学教育学会第24回学術集会	○
国内学会	成人の運動習慣を継続するための支援プログ ラムの検討 運動の成果	石野レイ子、兒嶋章 仁、岩井恵子他	2014.11	日本健康心理学会第27回大会	○
国内学会	超限界集落における住民の生活実態について (第3報)	岩井恵子、吉村牧子、 紀平為子他	2014.11	第34回日本看護科学学会学術集会	○
国内学会	成人の運動習慣を継続するための支援プログ ラムの検討 運動成果と認識	石野レイ子、兒嶋章 仁、岩井恵子他	2014.11	第34回日本看護科学学会学術集会	○
著書	介護福祉士養成テキスト 生活支援技術 I・II	岩井恵子、中村明美編 者	2014.03	法律文化社	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2012.04	岩井 恵子	平成24~26年度科学研究費補助金(挑戦的萌芽)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	KIRMIZI MERIC	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
翻訳	A History of Modern Lebanon (2nd ed.)	Traboulsi, Fawwaz/Translated by: Kirmizi, Meric	印刷中	Translated from English to Turkish for H <sub>2</sub> O Kitap Publisher. Forthcoming.	-
書評	David Harvey, Rebel Cities: From the Right to the City to the Urban Revolution, Verso, 2012	Kirmizi, Meric	2015.03	年報人間科学	-
研究ノート	地域生活者の語りにもみる西区堀江:バブル経済崩壊後の変化や現状	Kirmizi, Meric	2015.01	市政研究、第186号	-
国内学会	The Process Of Urban Change In Osaka City After The Collapse Of The Economic Bubble: The Case Of Horie, Nishi Ward	Kirmizi, Meric	2014.07	XVIII ISA World Congress of Sociology	-

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2014.09	Kirmizi, Meric	To be a pilgrim	Asia Times Online

学生氏名	諏訪 敏幸	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
総会講演	看護研究は何で行き詰まり、看護研究者は何を求めているか	諏訪敏幸	2014.02	『病院図書館』33(1), 41-53	

学生氏名	石井 由紀	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	ごみと人間の社会学	石井由紀	2014.11	第87回日本社会学会大会	

学生氏名	志水 洋人	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内会議(学会)	職域メンタルヘルスにおける軽症うつをめぐ る動向——医療化と脱医療化のはざままで	志水洋人	2014.05	第65回関西社会学会大会	
国際会議(学会)	Medicalization and Demedicalization of Mild Depression in Japanese Occupational Health	Shimizu, H.	2014.07	XVIII ISA World Congress of Sociology	○
国内会議(学会)	職域メンタルヘルスにおける軽症うつをめぐ るコンフリクト——疾患定義と病因をめぐ って	志水洋人	2014.11	第87回日本社会学会大会	○

学生氏名	正井 佐知	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表(その他)	オーケストラのメソドロジー	正井佐知	2014.10	日本福祉文化学会	

指導教員	斉藤 弥生	講座/研究分野	福祉社会論
------	-------	---------	-------

学生氏名	佐藤 桃子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	デンマークの社会的養護におけるソーシャルワークに関する研究—A市・B市のソーシャルワーカーに対するインタビュー調査より—	佐藤桃子	2014.06	日本地域福祉学会第28回大会	
国際会議(proc.あり)	Comparative Study of Elder Care Work in Japan and Sweden	Saito, Yayoi, Nobu Ishiguro, Yoko Yoshioka, Momoko Sato	2014.09	12th Annual ESPAnet conference	○
国際会議(proc.なし)	User Participation and Co-production in child welfare services	Sato, Momoko	2014.07	4th EMES International PhD Summer School	○
著書	ビネットを用いた調査例—デンマークの社会的養護をテーマとして—	上野谷加代子、斉藤弥生編著	2015.02	福祉ガバナンスとソーシャルワーク	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	佐藤桃子	平成26年度 科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

## 2-2-4. 人間学系

人間学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率	※在籍者には休学者を含む
	51 名	44 名	86.3 %	25 名	49.0 %	

指導教員	中山 康雄	講座/研究分野	科学哲学
------	-------	---------	------

学生氏名	加納 寛之	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Philip Kitcher, Science in a Democratic Society, 2011	加納寛之	2015.03	『年報人間科学』第36号, pp. 151-155.	
国内学会	社会認識論における非認識的価値の検討	加納寛之	2014.11	第47回日本科学哲学会	

学生氏名	雪本 泰司	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表(フォーラム)	否定的真理の問題に対するマンフォードの解決策への反論	雪本泰司	2014.07	哲学若手研究者フォーラム	
書評	John Heil "The Universe As We Find It" Oxford: Clarendon Press, 2012.	雪本泰司	2015.03	年報人間科学, 36号, pp. 141-145.	

指導教員	檜垣 立哉	講座/研究分野	現代思想
------	-------	---------	------

学生氏名	藤高 和輝	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(その他)	普遍の主張: J・バトラーにおける「共生」のポリティックス	藤高和輝	2015.03	ジャーナル『未来共生学』	○
学術論文(年報)	現象学からフーコーへ: 初期バトラーにおける身体論の変遷	藤高和輝	2015.03	『年報人間科学』	○
学術論文(紀要)	バトラーのマテリアリズム	藤高和輝	2015.03	『大阪大学人間科学研究科紀要』	○
学術論文(その他)	アイデンティティを引き受ける: バトラーとクィア/アイデンティティ・ポリティックス	藤高和輝	2015.03	『臨床哲学』	○

学生氏名	宮澤 由歌	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(年報)	マゾヒズムとサディズムの暴力性—バタイユにおけるその解決	宮澤由歌	2015.03	年報人間科学	○
学術論文(その他)	The Class Struggle and Sadism-- the Thoughts of Gilles Deleuze and Georges Bataille	宮澤由歌	2015.03	ドゥルーズ哲学思想研究報告書	
国内学会	ジョルジュ・バタイユの生命観とその萌芽	宮澤由歌	2014.05	応用哲学会	
国内学会	性行為の場における死という否定性——ベルサーニとバタイユの接続	宮澤由歌	2014.12	クィア学会	
国際会議(proc.なし)	The Class Struggle and Sadism-- the Thoughts of Gilles Deleuze and Georges Bataille	宮澤由歌	2014.06	The 2nd International Deleuze Studies in Asia	
発表(その他)	暮らしの哲学	久保明教, 渋谷亮, 山森裕毅, 宮澤由歌	2014.05	Institution 研究会 (WS コメンテーター)	

学生氏名	佐藤 伸郎	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(年報)	宮澤賢治の文学: 第四次についての考察	佐藤 伸郎	2015.03	年報人間科学	○

学生氏名	瀧本 裕美子	学年	DC1
------	--------	----	-----

### ○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.06	瀧本裕美子	平成26年度 独自の教育研究活動のための経費	

学生氏名	森野 雄介	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (年報)	西田幾多郎『善の研究』における三つの現在	森野雄介		2015.03	年報人間科学				○
国内学会	『無の自覚的限定』における「身体」と「衝動」	森野雄介		2014.07	西田哲学会				○
国際会議 (proc.あり)	Miki Kiyoshi and Gilles Deleuze	Yusuke Morino		2014.06	The 2nd International Deleuze Studies in Asia Conference 2014				○
国際会議 (proc.なし)	Impulsion of Body as Root of Empirical Time and Space: From Early Thought of Nishida	Yusuke Morino		2014.05	エラスムス・ムンドゥス 大阪大学学生ワークショップ				
国際会議 (proc.なし)	Nothingness and Non-nothingness: Rethinking about the Act Theory in Kitarô Nishida's Later Philosophy	Yusuke Morino		2014.11	Doctoral Workshop on Philosophy between Univ. Louvain-la-Neuve & Osaka Univ.				

学生氏名	米田 翼	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.あり)	The Biological Range of Deleuze's Individuation in <i>Deference and Repetition</i> : Through Comparison with Bergson	米田翼		2014.06	The 2nd International Deleuze Studies in Asia Conference				○
発表 (ワークショップ)	Qu'est-ce que la vie?	米田翼		2014.05	Atelier étudiant d'Erasmus Mundus, Erasmus Mundus Euro Philosophie				
翻訳	何のための診断か	米田翼・篠塚友香子		2014.05	『現代思想 精神医療のリアル』, 青土社, pp.174-191.				

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2014.03	米田翼	人間科学研究科賞	大阪大学

学生氏名	上野 隆弘	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Michel-Elie Martin, "Les réalismes épistémologiques de Gaston Bachelard", Éditions Universitaires de Dijon, 2012.	上野隆弘		2015.03	年報人間科学. 36 P.145-P.149				

学生氏名	小川 歩人	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Christopher Johnson, "System and Writing in the Philosophy of Derrida", Cambridge University Press 1993	小川歩人		2015.03	年報人間科学 第36号 pp.157-161				
発表	崩落と反覆 ジャック・デリダにおける忘却の二つの位相	小川歩人		2015.01	大阪大学第12回哲学ワークショップ				
発表	On Derrida's Iterability: The Same between the Sensible and the Ideal	小川歩人		2015.03	Laboratory of Thinking. The Second International Conference at Osaka University.				

学生氏名	織田 和明	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Thorsten Botz-Bornstein Place and Dream: Japan and the Virtual Rodopi (Amsterdam, New York), 2004	織田和明		2015.03	年報人間科学, 第36号				

学生氏名	多田 一夫	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Ordinary Economies in Japan :A Historical Persepctive, 1750-1950	Tetuso Njita		2015.03	年報人間科学 第36号				

学生氏名	平田 公威	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Irony	平田公威		2015.03	年報人間科学 第36号				
発表	把握的表象から動詞的表象へ	平田公威		2015.03	日仏哲学会				

指導教員	村上 靖彦	講座/研究分野	現代思想
------	-------	---------	------

学生氏名	赤坂 辰太郎	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	サルトルを読むメルロ＝ポンティ——『文学とは何か』をめぐる	赤坂辰太郎	2014.09	日本メルロ＝ポンティ・サークル第20回大会, 大阪大学	○
国際会議 (proc.なし)	Experience in the World without Others : A Deleuzian Reading of Nausea	Shintaro AKASAKA	2014.06	The 2nd International Deleuze Studies in Asia Conference, Osaka University	○
発表 (ワークショップ)	不在の他者とのコンタクト——初期サルトルにおける	赤坂辰太郎	2015.01	UTCP 若手研究者ワークショップ「サルトルと共生の哲学」, 東京大学	
翻訳	精神としてのヨーロッパを超えた世界: 超越論的先入見と現象学	ニコラス・スミス [著], 赤坂辰太郎 [訳], 稲原美苗 [訳], 豊島史彬 [訳]	2014.11	『現象学年報』, 日本現象学会, 第30号, pp. 31-48.	
学術論文 (科研報告書)	A Deleuzian Reading of La nausée	赤坂辰太郎	2015.03	『科学研究費助成事業「ドゥルーズ研究の国際化拠点の形成」平成26年度成果報告書』(研究代表者: 檜垣立哉)	

学生氏名	篠塚 友香子	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	精神科病院における看護師と患者の空間経験	篠塚友香子	2014.09	第20回メルロ・ポンティサークル	

指導教員	Schwentker Wolfgang	講座/研究分野	比較文明学
------	---------------------	---------	-------

学生氏名	周 雨霏	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	K.A.ウィットフォーゲルにおける東洋社会論の転回と北京滞在	周 雨霏	2014.10	社会思想史学会全国大会・第39回大会	○
国内学会	The Controversy on China's social History from a transnational point of view: Intermediaries, Translations and Networks	Yufei Zhou	2015.02	大阪大学大学院文学研究科グローバル日本研究クラスター・<帝国と思想>研究会共催 公開ワークショップ「可能性としての東アジア思想史」	
国際会議 (proc.あり)	Karl August Wittfogel and the Japanese Sinology 1926-1945	Yufei Zhou	2014.08	The 14th EAJS International Conference	○
解説・総説	(書評) 小野清美『アウトバーンとナチズム: 景観エコロジーの誕生』ミネルヴァ書房、2013年。	周 雨霏	2015.03	年報人間科学	

○その他: 新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2014.05	周 雨霏	《德国历史教科书的功与过》	《北京晨报》
2014.05	周 雨霏	《一个人与一座城》	《北京晨报》
2014.06	周 雨霏	《一位女共产党员的记忆》	《北京晨报》
2014.08	周 雨霏	《“基辛格教授”在波恩》	《北京晨报》
2014.09	周 雨霏	《德国高速公路与纳粹美学》	《羊城晚报》

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.05-2014.09	Yufei Zhou	Osaka University Scholarship for Overseas Research Activities	大阪大学未来基金グローバル化推進事業
2014.08	Yufei Zhou	Financial Aid for the Participation in an International Conference by Graduate Students	大阪大学人間科学研究科教育推進室

学生氏名	河口 篤	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Joy H. Calico, Arnold Schoenberg's A Survivor From Warsaw in Postwar Europe, University of California Press, 2014	河口 篤	2015.03	年報人間科学 36号	

指導教員	中川 敏	講座/研究分野	人類学
------	------	---------	-----

学生氏名	अदेिका रिशान भादेल	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.なし)	Under the open sky: a case study of performing arts for tourist in rural Nepal	Sujan Bahadur Adhikari	2014.05	IUAES 2014 with JASCA	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.12	Sujan Bahadur Adhikari	平成 26 年第 3 回「研究留学助成金」	大阪大学

学生氏名	SOUTHARD DYLAN		学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	การทบทวนความเป็น ท้องถิ่นนิยม (東北タイにおける地域主義の再考)		Southard Dylan	2014.11	チェーンマイ大学第一回民族性と開発セミナー	
国際会議 (proc.あり)	Rethinking Localism in Sustainable Development: The Case of Development Monks in Northeast Thailand		Dylan Southard	2014.06	Rethink: Social Development for Sustainability in ASEAN Community	○
国際会議 (proc.なし)	Community Development and Political Conflict		Dylan Southard	2014.06	9th Annual Graduate Forum on Southeast Asian Studies	○
国際会議 (proc.なし)	Collaboration or Appropriation? Development Monks and State Localism in Northeast Thailand		Southard Dylan	2015.01	The 7th Annual CUHK Anthropology Postgraduate Student Forum "Impacting the World: Emerging Voices of Asian Anthropology"	○
学会 レポート	THE ROUNDTABLE ON CLOTH, CULTURE AND DEVELOPMENT		Non Arkaraprasertkul, Dylan Southard	2014.10	The International Institute for Asian Studies (IIAS) – Rethinking Asian Studies Project	
学会 レポート	Report for The Advanced Seminar on Southeast Asian Studies Focus on Thailand		Eza King, Dylan Southard, Charlotte Trenk-Hinterberger, Justine Chambers	2015.03	The Advanced Seminar on Southeast Asian Studies Focus on Thailand	

指導教員	栗本 英世	講座/研究分野	人類学
------	-------	---------	-----

学生氏名	藤井 真一		学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	How Did Solomon Islanders Live with Conflict?: A Case Study of Daily Life in Northeastern Guadalcanal, Solomon Islands		Fujii, S.	2015.03	<i>People and Culture in Oceania</i> , 30, 21-40.	○
学術論文 (その他)	『ペル・ウル』——紛争渦中で未来共存を実現する方法		藤井真一	2015.03	未来共生学, 2, 265-290.	○
書評	小田博志、関雄二 (編)『平和の人類学』		藤井真一	2015.03	未来共生学, 2, 367-370.	
国内学会	紛争の渦中における生計活動と生存戦略——ソロモン諸島ガダルカナル島北東部の日常生活から		藤井真一	2014.05	日本文化人類学会第 48 回研究大会 (千葉県幕張メッセ国際会議場)	○
国内学会	ソロモン諸島ガダルカナル島における漆黒の器「ポポ (popo)」の利用をめぐって		藤井真一	2015.03	生態人類学会第 20 回研究大会 (秋田県仙北市)	
発表 (成果報告)	紛争で破綻した社会関係はいかにして修復されるのか——ソロモン諸島の贈与儀礼にみられる媒介物に着目して		藤井真一	2014.05	大阪大学卓越した大学院拠点形成支援補助金「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」平成 25 年度大学院生調査研究助成 (第二次) 成果報告会 (大阪大学)	
発表 (研究会)	紛争の周縁、生成される平和——ソロモン諸島ガダルカナル島の日常性の考察		藤井真一	2014.06	筑波人類学研究会第 15 回定例会 (筑波大学)	
発表 (研究会)	周縁の外側における紛争と平和——ソロモン諸島の「民族紛争」から見るグローバリゼーション		藤井真一	2014.10	第 13 回九州人類学研究会オースタム・セミナー (佐賀県三養基郡)	

学生氏名	村橋 勲		学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表	「南スーダンにおける戦闘の背景と停戦合意の動向」		村橋勲	2014.03	科学研究費 基盤研究 B「NGO 活動の作りだす流動的社会空間についての人類学的研究」(愛知)	
国内学会	「内戦終結後の南スーダン、ロピットにおける民族 における民族間、集団内関係 の変化—年齢組、雨の首長 そ して内戦の影響」		村橋勲	2014.04	第 23 回日本ナイル・エチオピア学会(広島)	○
国内学会	「内戦後の地域社会の社会変化と新たなコンフリクト—南スーダン、ロピットの形成と民族間 関係の変化」		村橋勲	2014.05	第 51 回日本アフリカ学会 (京都)	
国内学会	「独立後の南スーダンにおけるコンフリクトと地域社会の動向: オーストラリアの南スーダン人ディアスポラへの調査から」		村橋勲	2014.05	卓越する大学院拠点形成支援補助金「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」、平成 25 年度 (卓越) 大学院生調査研究助成成果第二次・第三次成果報告会 (大阪)	

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2014.04	村橋勲	南スーダンの写真展および講演「南スーダンの現状」	中日新聞「内戦復興、明日へ生きる人々」
2014.04	村橋勲	南スーダンの写真展および講演「南スーダンの現状」	静岡新聞「南スーダンの現状紹介」

## ○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	村橋勲	平成 26 年度科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	TSERENDAGVA MUNKHBAYASGALAN	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
発表 (研究会)	移動という概念から読み解く社会変動 -モンゴルの遊牧民の移動をめぐる-	ツェレンダグワ ムンフバイヤスガラン	2014.10	日本モンゴル研究会（大阪大学中之島センター）		
エッセイ	近代化に脅かされる「共生」 —モンゴル語における諸概念の考察から	ツェレンダグワ ムンフバイヤスガラン	2015.02	『未来共生学』第 2 号, 390-394.	○	

指導教員	森田 敦郎	講座/研究分野	人類学
------	-------	---------	-----

学生氏名	鈴木 和歌奈	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	The care of the cell: Onomatopoeia and embodiment in a stem cell laboratory	Wakana Suzuki	2014.05 (online)	NatureCulture	○	
書評	A single step toward a 'good science' of stem cell research	Wakana Suzuki	2015.03	BioSocieties		
国際会議 (proc.あり)	Love or Indifference? Complicated Relationships between Scientists and Experimental Animals in a Japanese Laboratory	Wakana Suzuki	2014.05	IUAES (The International Union of Anthropological and Ethnological Sciences)	○	
国際会議 (proc.なし)	Thank you for your life"; Human and Animal Relationships in Japanese Laboratories	Wakana Suzuki	2015.03	Politics of Environmental Knowledge: Encounters between Indigeneity and Modernity		

## ○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2015.03.04	鈴木和歌奈	育志賞	日本学術振興会

学生氏名	古川 不可知	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (年報)	職業としての「シェルパ」をめぐる語りと実践	古川不可知	2015.01	『年報人間科学』	○	
国内学会	ポーターからシェルパへ	古川不可知	2014.05	日本文化人類学会第 48 回研究大会	○	
国内学会	職業としての「シェルパ」をめぐる語りと実践	古川不可知	2014.09	日本南アジア学会第 27 回研究大会	○	
発表 (研究会)	道の人類学に向けて	古川不可知	2014.10	EI 研究会		
Ph.D. ワークショップ	Making Road, Becoming "Sherpa"(仮)	古川不可知	2015.03	Politics of Environmental Knowledge		

## ○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	古川不可知	特別研究員研究費	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	KRAUSE LIV NYLAND	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
発表(国際 ワークショップ)	The Creation of a Local Innovation Ecosystem for nurturing Global Entrepreneurs	Krause Liv Nyland	2015.03	Politics of Environmental Knowledge		

## 2-2-5. 教育学系

教育学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率	※在籍者には休学者を含む
	138 名	129 名	93.5 %	75 名	54.3 %	

指導教員	藤川 信夫	講座/研究分野	教育人間学
------	-------	---------	-------

学生氏名	江川 美由紀	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	ゼミ単位による正統的周辺参加学習 一看護技術指導を通してー	後藤多美子/江川美由紀/榊田綾子	2015.01	日本看護学校協議会雑誌 第45号巻2号74-75	○
国内学会	ゼミ単位による正統的周辺参加学習 一看護技術指導を通してー	後藤多美子/江川美由紀/榊田綾子	2014.08	第26回 日本看護学校協議会	
著書	教育と福祉の舞台 動的ドラマトゥルギーの試み	藤川信夫 編著/京極重智・江川美由紀・榊田雄飛・高田俊輔・佐々木暢子・河合翔・上田慶祐・渡川智子	2014.10	大阪大学出版会	
雑誌	コラム「ノート学習」を通じた基礎科目への専任教員の関与	江川美由紀	2014.12	看護教育 医学書院 vol.55 No.12	

学生氏名	京極 重智	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	「認知症高齢者の世界」再考	京極重智	2014.05	日本保健医療社会学会第40回大会(於:東北大学)	
国内学会	人間形成論の観点から見た「老い」	京極重智	2014.11	関西教育学会第66回大会(於:滋賀大学)	
著書	第2章「教育と福祉の類似性」	京極重智	2014.10	藤川信夫編著『教育/福祉という舞台』、大阪大学出版会、39-52頁。	
著書	第3章「ドラマトゥルギーの観点から見る認知症高齢者と介護福祉士」	江川美由紀・京極重智	2014.10	藤川信夫編著『教育/福祉という舞台』、大阪大学出版会、53-68頁。	

学生氏名	佐々木 暢子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	消極的な関わりの場としての預かり保育 ー「教育」と「福祉」の捉え直しに向けてー	佐々木暢子	2014.08	日本教育学会	
著書	大学授業のドラマトゥルギー	佐々木暢子	2014.09	教育/福祉という舞台 動的ドラマトゥルギーの試み	

学生氏名	中嶋 尚子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	新たな倫理教育方法としてのオーディエンス 実習・倫理規範から相互行為秩序へ	中嶋尚子	2014.08	日本看護研究学会第40回学術集会	○
国内学会	.教育方法としての「振り付け」ーある新卒者の 「フリーズ」現象からー	中嶋尚子	2014.11	日本看護科学学会第34回学術集会	○

学生氏名	MAWER KIM GISELA	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.なし)	The development of juku in postwar Japan - transformations within changing social contexts	Kim Mawer	2015.01	Asian Link of Philosophy of Education	なし

学生氏名	高田 俊輔	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	児童自立支援施設における学校教育の位置 ー学校教員と施設職員の語りからー	高田俊輔	2014.08	日本教育学会	
国際会議 (proc.なし)	The Role of Education in the Children's Self-Reliance Support Facility	高田俊輔	2015.01	Asian Link of Philosophy of education Winter Seminar	

学生氏名	古波蔵 香	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	戦後日本における平和教育の形成過程ー長田 新の平和教育思想を中心としてー	古波蔵香	2014.11	関西教育学会第66回大会	
国際会議 (proc.なし)	A study on the thought of peace education in Japan after World War II : Focusing on Arata Osada's thought in the early post-war period	古波蔵香	2015.01	Asian Link of Philosophy of Education Winter Seminar 2015	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2015.01	古波蔵香	博士課程学生海外派遣支援事業（学長リーダーシップ枠）	大阪大学

学生氏名	光田 千華子	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	日本における知能検査の受容と変容に関する一考察	光田 千華子	2014.11	関西教育学会第 66 回大会	
国際会議 (proc.なし)	Japanese History of Educational Measurement -The Historical Formation of a Traditional Outlook on Ability-	光田 千華子	2015.01	Asian Link of Philosophy of Education Winter Seminar 2015	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2015.01	光田 千華子	博士課程学生海外派遣支援事業（学長リーダーシップ枠）	大阪大学

指導教員	前迫 孝憲	講座/研究分野	教育工学
------	-------	---------	------

学生氏名	河崎 哲嗣	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.なし)	Mathematical Modelling Challenge Program for J.H.S. Students in Japan	柳本哲, 河崎哲嗣, 吉村昇	2015.03	16th International Conference on the Teaching of Mathematical Modelling and Applications	○
学術論文 (紀要)	高等学校におけるグローバル化を志した科学教育研究事業 一京都府 SSH・SGH の実際一	河崎哲嗣, 齊藤和彦, 前迫孝憲	2015.03	岐阜大学教育学部研究紀要 (教育実践) 第 17 卷	
学術論文 (紀要)	中高一貫校における科学教育カリキュラムの実践研究 一SSH 指定校における数学教育一	笠沙敏彦, 吉田耕平, 河崎哲嗣	2015.03	岐阜大学教育学部研究紀要 (教育実践) 第 17 卷	
著書	第 11 章「確率と統計」	河崎哲嗣	2015.02	守屋誠司 (編著)「教科力シリーズ 小学校算数」, 玉川大学出版部, Pp.141-169	
翻訳	1 章ミレトウスのタレス～26 章円の正方形化	河崎哲嗣, 稲葉芳成, 吉田耕平	2015.03	高木隆司 (翻訳)「美しい幾何 Beautiful Geometry」, (株)丸善出版, Pp.1-87	
学術論文 (学会誌)	時系列データ分析の初等・中等教育における扱いについて 一その 1 データ分析の国内外での比較の視点および小学生の状況調査から一	河崎哲嗣, 稲葉芳成	2015.02	近畿数学教育学会会誌, 28, Pp. 未定	○
著書	授業を見るならこの先生! (第 29 回) 岐阜県の数学科エースを紹介します. 子どもの学びの質を向上させる授業の質	河崎哲嗣	2014.09	「教育科学/数学教育」, 明治図書出版株式会社, Pp.94-95	
学術論文 (学会誌)	小学校 5・6 年生を対象としたサイコロを題材にした教材の開発と実践	中村航洋, 河崎哲嗣, 佐藤正寿	2015.03	岐阜数学教育研究 2014, Vol.13, (未定)	○
学術論文 (学会誌)	関数領域における小学校教材の開発と実践	諏訪, 山路健祐, 河崎哲嗣, 山田雅博	2015.03	岐阜数学教育研究 2014, Vol.13, (未定)	○
学術論文 (学会誌)	小学校高学年における不定形図形の求積に関する教材開発実践 一パンチングボードを利用したドットの視点による面積計算からモンテカルロ法へ一	稲葉芳成, 河崎哲嗣	2015.03	岐阜数学教育研究 2014, Vol.13, (未定)	○
学術論文 (学会誌)	中学 1・2 年生を対象とした待ち行列の授業展開における研究 一身近な事象を題材にした数学教育一	増谷迪香, 柘植直樹, 河崎哲嗣	2015.03	岐阜数学教育研究 2014, Vol.13, (未定)	○
学術論文 (学会誌)	ゲーム理論を用いた高等学校における授業開発と実践	小森, 柘植直樹, 河崎哲嗣	2015.03	岐阜数学教育研究 2014, Vol.13, (未定)	○
学術論文 (学会誌)	サイクロイドを題材とする高校生向けの教材の開発と実践	西脇康雅, 柘植直樹, 河崎哲嗣	2015.03	岐阜数学教育研究 2014, Vol.13, (未定)	○
発表 (シンポジウム)	病は医者, 歌は公家, 弓矢は武士…斯々然々一 出身地の風土を守り抜く「人」を活かす一	河崎哲嗣	2014.09	2014 年度数学教育学会秋季例会発表論文集数学教育学会誌臨時増刊, Pp. 140-142, 数学教育学会	
国内学会	選挙区割の数学的モデリングチャレンジャー社会的問題のモデリングの一例として一	黄瀬正敏, 河崎哲嗣, 柳本哲, 稲葉芳成	2014.09	2014 年度数学教育学会秋季例会発表論文集数学教育学会誌臨時増刊, Pp. 94-96, 数学教育学会	
国内学会	3D プリンターの有用性を生み出す数学教育に関する研究 一その 2「高校数学における空間図形の扱いと生徒達の実態」一	河崎哲嗣, 斎宮隆男, 松井一晃, 吉田耕平, 笠沙敏彦, 前迫孝憲	2014.09	2014 年度数学教育学会秋季例会発表論文集数学教育学会誌臨時増刊, Pp. 166-168, 数学教育学会	
国内学会	公立中高一貫 SSH 指定校における数学教育プログラムの開発研究 (1)	吉田耕平, 笠沙敏彦, 河崎哲嗣	2014.09	2014 年度数学教育学会秋季例会発表論文集数学教育学会誌臨時増刊, Pp. 163-165, 数学教育学会	
国内学会	日常現象の図形モデル表現を目指した教材開発一その 3「太陽の軌道と日影曲線に焦点をあてた授業実践」一	紀平武宏, 河崎哲嗣, 笠沙敏彦	2014.09	2014 年度数学教育学会秋季例会発表論文集数学教育学会誌臨時増刊, Pp. 157-159, 数学教育学会	
国内学会	身近にある統計図表を批判的・建設的に判断するための教育実践	山路健祐, 山田雅博, 河崎哲嗣	2014.09	2014 年度数学教育学会秋季例会発表論文集数学教育学会誌臨時増刊, Pp. 180-182, 数学教育学会	
国内学会	高等学校における数学的活動を伴う学習の実践研究 一数学教養講座の実践の紹介と検証 (その 1) 一	黄瀬正敏, 河崎哲嗣	2015.03	2015 年度数学教育学会春季年会発表論文集数学教育学会誌臨時増刊, Pp. (未定), 数学教育学会	

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	日常現象の図形モデル表現を目指した教材開発 その4 太陽の軌道と日影曲線を用いた数学的モデリングの一教材例	笠沙敏彦, 紀平武宏, 河崎哲嗣	2015.02	2014年度第56回近畿数学教育学会	

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2014.07	河崎哲嗣	岐阜大学公開講座 はじめて!ワクワク!? 見て・さわって・考える「形と数の教室」の取材	7月28日付岐阜新聞県内版
2014.09	河崎哲嗣	岐阜大学公開講座 「いろいろな形の面積をもとめてみよう」の取材	9月20日付中日新聞Dおまんなか

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	柳本哲(代表) 河崎哲嗣 他	科学研究費助成事業	独立行政法人 日本学術振興会
2014.04	河崎 哲嗣	研究成果の社会還元・普及事業, ひらめき☆ときめきサイエンス ~ようこそ大学の研究室へ~ KAKENHI	独立行政法人 日本学術振興会
2014.04	河崎 哲嗣	(公財) 田口福寿会 国際学術交流助成金	公益財団法人田口福寿会
2014.06	河崎 哲嗣	平成26年度外国人招へい研究者(短期)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	李 哲		学年	DC3	
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(その他)	日本における地域向けの都市市民 MOOC: インターネット市民塾	李哲・孫帙・張海	2014.04.	中国情報技術教育	○
学術論文(その他)	日本における博物館の公共文化資源の建設とイベントデザイン	孫帙・李哲・前迫孝憲・張海	2014.05	中国情報技術教育	○
学術論文(その他)	日本の大学の外国語教育における e-learning と JMOOC の実践と研究	李哲・前迫孝憲・孫帙・張成・張海	2014.06	中国情報技術教育	○
国際会議(proc.あり)	HyperMirror System Based Collaborative Language Learning Between Foreign Language Learners And Native Speakers	Sun Zhi, Li Zhe, Spence Zaorski, Okubayashi Taichiro, Maesako Takanori, Zhang Hai	2014.07	2014 International Conference on Intelligent Environments	○
学術論文(その他)	授業・学校・地域・国際の協同学習スペースの構築—日本の協同学習による教育実践をもとに	孫帙・李哲・前迫孝憲, 張海	2014.07	中国情報技術教育	○
学術論文(その他)	知識時代における知識地図:日本の知識可視化に関する研究事例	李哲・前迫孝憲・孫帙・李章傑・張海	2014.08	中国情報技術教育	○
学術論文(その他)	日本における国連 ESD プロジェクトとカリキュラムの融合による経験と啓発—日本の持続可能な開発のための教育 10年計画を通して	孫帙・前迫孝憲・李哲・張海	2014.09	中国情報技術教育	○
学術論文(その他)	「学びのイノベーション」事業:日本の2020年向けのフューチャースクールのデザイン	李哲・孫帙・李娟・張海	2014.10	中国情報技術教育	○
学術論文(その他)	日本の教育工学における研究発展のレビューと展望—日本教育工学会第30回全国大会	孫帙・李哲・前迫孝憲, 張海	2014.11	中国情報技術教育	○
学術論文(その他)	日本における教育情報化の現状と教育用のクラウド型システムの実践—「先導的な教育体制構築事業」を事例に	李哲・孫帙・李羽喆・張海・姜雷	2014.12	中国情報技術教育	○
学術論文(学会誌)	Irregular Diamond Grinding Wheel Design Process Based on Reversal Design	LI Juan, LI Zhe, LU Wenqian	2014.12	Diamond & Abrasives Engineering	○
学術論文(その他)	国際遠隔交流学習による日本語会話授業—「超鏡」を用いた中日の大学間の実践をもとに	李哲・孫帙・奧林泰一郎・中村雅子・前迫孝憲	2015.03	大阪大学教育学年報	○
学術論文(その他)	Documentation platform for supporting collaborative knowledge building in learning computer programming	Sun Zhi, Li Zhe, Spence Zaorski, Nishimori Toshihisa, Maesako Takanori	2015.03	大阪大学教育学年報	○

学生氏名	孫 帙		学年	DC2	
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	日本における地域向けの都市市民 MOOC: インターネット市民塾	李哲・孫帙・張海	2014.04	中国情報技術教育	○
学術論文(学会誌)	日本における博物館の公共文化資源の建設とイベントデザイン	孫帙・李哲・前迫孝憲, 張海	2014.05	中国情報技術教育	○
学術論文(学会誌)	日本の大学の外国語教育における e-learning と JMOOC の実践と研究	李哲・前迫孝憲・孫帙・張成・張海	2014.06	中国情報技術教育	○
学術論文(学会誌)	授業・学校・地域・国際の協同学習スペースの構築:日本の協同学習による教育実践をもとに	孫帙・李哲・張海	2014.07	中国情報技術教育	○
学術論文(学会誌)	知識時代における知識地図:日本の知識可視化に関する研究事例	李哲・前迫孝憲・孫帙・李章傑・張海	2014.08	中国情報技術教育	○
学術論文(学会誌)	国連 ESD プロジェクトとカリキュラムの融合による経験と啓発:日本の持続可能な開発のための教育 10年計画を通して	孫帙・前迫孝憲・李哲・張海	2014.09	中国情報技術教育	○

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	「学びのイノベーション」事業：日本の2020年向けのフューチャースクールのデザイン	李哲・孫帙・李娟・張海	2014.10	中国情報技術教育	○
学術論文 (学会誌)	日本の教育工学における研究発展のレビューと展望：日本教育工学会第30回記念大会	孫帙・李哲・張海	2014.11	中国情報技術教育	○
学術論文 (学会誌)	日本における教育情報化の現状と教育用のクラウド型システムの実践：「先導的な教育体制構築事業」を事例に”	李哲・孫帙・李羽喆・張海	2014.12	中国情報技術教育	○
学術論文 (紀要)	A Documentation Platform for Supporting and Assessing Collaborative Knowledge Building in Learning Computer Programming	Sun Zhi, Li Zhe, Zaorski Spence, Nishimori Toshihisa, Maesako Takanori, Nakamura Masako, Imamura Rie	2015.03	Annals of Educational Studies Osaka University Vol.20	○
学術論文 (紀要)	国際遠隔交流学習による日本語会話授業：「超鏡」を用いた中日の大学間の実践をもとに	李哲・孫帙・奥林泰一郎・中村雅子・前迫孝憲	2015.03	大阪大学教育学年報 第20号	○
国内学会	モバイル端末管理ツールを用いた遠隔学習環境の構築と実践	奥林泰一郎・ゼオースキスペンス・孫帙・中村雅子・前迫孝憲	2014.09	日本教育工学会第30回全国大会	
国内学会	A Platform of Collaborative Knowledge Building for Learning Computer Programming	Sun Zhi, Zaorski Spence, Nakamura Masako, Nishimori Toshihisa, Maesako Takanori	2014.09	The 30th Annual Conference of JSET	
国際会議 (proc.あり)	Hyper Mirror System Based Collaborative Language Learning between Foreign Language Learners and Native Speakers	Sun Zhi, Li Zhe, Zaorski Spence, Okubayashi Taiichiro, Maesako Takanori, Zhang Hai	2014.07	2014 International Conference on Intelligent Environments	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.07	孫 帙	大学院学生国際学会海外派遣支援金	大阪大学大学院人間科学研究科 教育改革推進室

学生氏名	森田 健宏	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	乳幼児のメディア使用に関するアメリカでの最近の声明とわが国における今後の課題	森田健宏、堀田博史、佐藤朝美、松河秀哉、松山由美子、奥林泰一郎、深見俊崇、中村恵	2015.03	教育メディア研究 (日本教育メディア学会論文誌)	○
国内学会	幼児の安全教育に資するメディア教材の活用可能性	森田健宏、堀田博史、松河秀哉、角野茂樹、笠井正隆、川瀬基寛	2014.10	日本教育メディア学会 第21回年次大会	○
国内学会	ARによる指示情報を用いた避難経路誘導における標識のデザインと利用可能性の検討	川瀬基寛、森田健宏、堀田博史、笠井正隆	2014.10	日本教育メディア学会 第21回年次大会	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	森田健宏	平成26年度科学研究費助成事業(基盤研究(C))	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	徳永 基与子	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	新人看護師の離職につながる要因とそれを防ぐ要因	山口曜子・徳永基与子	2014.06	日本看護医療学会誌 vol.16, No.1:51-58, 2014	○
国内会議 (学会)	基礎看護技術における身体信州を加える看護技術の授業デザイン	平野加代子・徳永基与子・真嶋由貴莉	2015.01	第9回医療系eラーニング全国交流会 講演要旨集 36-37	
国内会議 (学会)	看護技術演習における学習支援アプリに活用	徳永基与子・平野加代子	2015.03	日本医療教授システム学会, P-D8	
国内会議 (学会)	看護学生の睡眠の質に関する調査	山口曜子・徳永基与子・若村智子	2015.03	日本看護研究学会 第28回近畿・北陸地学術集会 P-5-2	
国内会議 (学会)	誤りから学ぶ看護技術学習システムの効果	徳永基与子・平野加代子	2015.03	日本教育システム情報学会 特集論文研究会 発表予定	
国内会議 (学会)	Learning needs of nurses who care for cancer patients undergoing molecular targeted therapy	中村正子・中平みわ・徳永基与子・村上陽子・木下智恵美	2014.11	日本看護科学学会, 0o7-2	

学生氏名	藤川 聡	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	支援を要する生徒の設計学習におけるスチレンボードを用いた試作による指導法の提案	藤川 聡・水上丈実・原田信一	2014.12	日本産業技術教育学会誌, 第56巻, 第4号	○

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	Proposal of the SIR curriculum for Enhancing Students' Motivation to learn in Technology Education	Satoshi Fujikawa, Tadashi Chaki, Shinichi Harada, Shigeki Ando, Takemi Mizukami	2014.07	International Journal of Innovations in Engineering and Technology, Special Issue JTL-AEME	○
学術論文 (学会誌)	Development and Practice of a Rotating duty system in Robot Contest Study	Satoshi Fujikawa, Shinichi Harada, Shigeki Ando	2014.07	International Journal of Innovations in Engineering and Technology, Special Issue JTL-AEME	○
国際会議 (proc.あり)	Technology Education in Japan	Satoshi Fujikawa, Takanori Maesako	2014.08	1st ACEIAT & 3rd JTSTE	
国際会議 (proc.あり)	Development of the Teaching Material Using Piezoelectric Element in the Learning of Energy Conversion Technology	Satoshi Fujikawa, Takemi Mizukami, Shinichi Harada	2014.08	1st ACEIAT & 3rd JTSTE	

学生氏名	富永 直也	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	初等教育時における「情報モラル指導」の見直し	富永直也	2015.03	教育システム情報学会 研究報告 vol.29.no.6	○

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2014.07	富永直也	物作り教育としてのロボット学習	毎日新聞

指導教員	西森 年寿	講座/研究分野	教育工学
------	-------	---------	------

学生氏名	中村 雅子	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (紀要)	A Documentation Platform for Supporting and Assessing Collaborative Knowledge Building in Learning Computer Programming	Sun Zhi, Li Zhe, Zaorski Spence, Nishimori Toshihisa, Maesako Takanori, Nakamura Masako, Imamura Rie	2015.03	Annals of Educational Studies Osaka University	○
学術論文 (紀要)	国際遠隔交流学习による日本語会話授業：「超鏡」を用いた中日の大学間の実践をもとに	李哲・孫映・奥林泰一郎・中村雅子・前迫孝憲	2015.03	大阪大学教育学年報 第20号	○
国内学会	A Platform of Collaborative Knowledge Building for Learning Computer Programming	Sun Zhi, Zaorski Spence, Nakamura Masako, Nishimori Toshihisa, Maesako Takanori	2014.09	The 30th Annual Conference of JSET	
国内学会	モバイル端末管理ツールを用いた遠隔学習環境の構築と実践	奥林泰一郎・ゼオースキスペンス・孫映・中村雅子・前迫孝憲	2014.09	日本教育工学会第30回全国大会	

指導教員	三宮 真智子	講座/研究分野	教育コミュニケーション学
------	--------	---------	--------------

学生氏名	西森 章子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	高校生における「自分の考えを書くこと」への問題意識	西森章子・三宮真智子	2015.03	大阪大学教育学年報第20号	
国内学会	大学生を対象とした「主張に対する根拠産出トレーニング」の検討	西森章子・三宮真智子	2014.09	日本教育工学会第30回全国大会発表論文集, p.177-178	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	西森 章子	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究C）	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	亀岡 正睦	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (ポスター)	ふきだし法と質問紙法で捉えたメタ認知の関係	久坂哲也・大谷和夫・古本温久・三宮真智子・亀岡正睦	2014.09	日本教育工学会第30回全国大会	
発表 (ポスター)	ふきだし法を用いてメタ認知をオンラインで捉える試みー小学校算数科における検討ー	久坂哲也・大谷和夫・古本温久・亀岡正睦	2014.11	日本教育心理学会第56回総会	
著書	算数科授業デザイン「ふきだし法」第0章～第5章	亀岡正睦・古本温久	2014.03	亀岡正睦編「算数科授業デザイン「ふきだし法」」pp.6-13、23-35、41-51,53-66, 70-80 東洋館出版社、	
著書	「授業と学習のユニバーサルデザイン」第1章、第4章	亀岡正睦他8名	2014.09	亀岡正睦編「授業と学習のユニバーサルデザイン」pp.11-17、60-81 明治図書	

学生氏名	久坂 哲也	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	メタ認知的知識に働きかけて情報判断力を育てる学習教材の開発	三宮真智子・久坂哲也	2015.01	日本教育工学会論文誌, 38 巻, 増刊号	○				
学術論文(紀要)	中学生の科学的思考に対する認知に関する一考察	久坂哲也・三宮真智子	2015.03	大阪大学大学院人間科学研究科紀要, 41 巻, pp. 137-151					
国内会議(学会)	理科教育学研究におけるメタ認知の測定に関する一考察	久坂哲也・三宮真智子	2014.08	日本理科教育学会第 64 回全国大会(愛媛), 379					
国内会議(学会)	ふきだし法と質問紙法で捉えたメタ認知の関係	久坂哲也, ほか 4 名	2014.09	日本教育工学会第 30 回全国大会(岐阜), 891-892					
国内会議(学会)	ふきだし法を用いてメタ認知を捉える試み	久坂哲也, ほか 3 名	2014.11	日本教育心理学会第 56 回総会(兵庫), PA037					

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	久坂 哲也	平成 26 年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	日本学術振興会

学生氏名	山口 洋介	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	アイデア生成過程における系列位置と創造性(2) テキストマイニングを用いた分析	山口洋介・三宮真智子	2014.09	日本心理学会第 78 回大会発表論文集, pp. 886.					
国内学会	大学生における目標達成に向けての自己調整方略(I) プランニングおよびその遂行に関する実態調査	山口洋介・澤山郁夫・三宮真智子	2014.09	日本教育工学会第 30 回全国大会講演論文集, pp. 609-610.					
国内学会	大学生における目標達成に向けての自己調整方略(II) 効力期待に影響を与える要因に着目した実験的検討	澤山郁夫・山口洋介・三宮真智子	2014.09	日本教育工学会第 30 回全国大会講演論文集, pp. 607-608.					
国内学会	大学生における創造観とアイデア生成の関連性	山口洋介・三宮真智子	2014.11	日本教育心理学会第 56 回総会発表論文集, p. 199.					

学生氏名	飯島 睦美	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	外国語活動における児童の困り感(1)-特別支援の視点から実施した教員へのアンケート調査をもとに	大谷みどり, 築道 和明, 飯島睦美	2014.07	第 14 回小学校英語教育学会, pp.78	○				
国内学会	英語教員から見た学習者の躓きと困り感	飯島睦美	2014.08	外国語教育メディア学会第 54 回全国研究大会, pp.120-121					
国内学会	英語教育における特別な支援の在り方-小中高大の連携を通して(1)	飯島睦美, 大谷みどり, 築道 和明, 猫田英伸	2014.08	第 40 回全国英語教育学会徳島大会, pp.198-199	○				
国内学会	教育ディベートに観察される学習者の論理的思考-工学系学生に必要なとされる能力育成の観点より-	飯島睦美, 三宮真智子	2014.11	日本教育心理学会第 56 回総会, p.786	○				
国内学会	通常学級の英語授業における支援-教員のアンケート調査から見えるニーズと課題	大谷みどり, 飯島睦美	2014.11	日本 LD 学会第 23 回大会, p.71	○				
発表(講演)	平成 26 年度 邑智郡特別支援教育研修会「学習につまずきのある生徒への支援について」	飯島睦美	2014.10	島根県立石見養護学校(島根県立石見養護学校主催。島根県内小, 中, 高校の教員対象。英語学習に顕在する学習障がいを紹介, 教授方略, 習者の学習方略改善について, 認知言語学的視点から講演。)					
発表(講演)	平成 26 年度 中国地区高等専門学校教育研修「困り感を持った学生・気になる学生への支援について」	飯島睦美	2014.12	国立松江工業高等専門学校(中国地区の 8 つの高専で行う教育研修において, 英語学習を例にとり, 特性を持つ学生がもつ学習上の難しさとその支援の方法について講演を行った。)					

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2013.04 ~2018.03	大谷みどり(代表), 飯島睦美 他	科学研究費(b)	独立行政法人 日本学術振興会
2013.04 ~2016.03	飯島睦美	科学研究費(c)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	澤山 郁夫	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	Web 上での学習者間相互交流の仕組みが e ラーニングに対する動機づけに与える効果(III)	澤山郁夫・寺澤孝文	2014.07	日本社会心理学会第 55 回大会発表論文集, 222.					
国内学会	日々の学習を継続するために必要な要因 ~ 国立大学生の自由記述を基にした探索的検討 ~	澤山郁夫・三宮真智子	2014.09	日本心理学会第 78 回大会発表論文集, 787.					
国内学会	大学生における目標達成に向けての自己調整方略(I) プランニング及びその遂行に関する実態調査	山口洋介・澤山郁夫・三宮真智子	2014.09	日本教育工学会第 30 回全国大会発表論文集, 609-610.					

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	大学生における目標達成に向けての自己調整方略(II)ー効力期待に影響を与える要因に着目した実験的検討ー	澤山郁夫・山口洋介・三宮真智子	2014.09	日本教育工学会第30回全国大会発表論文集, 607-608.	
国内学会	どのような人がTwitterをこまめに閲覧し、ツイートするのか(II)ー自己関連情報の収集に関わる心理特性に着目した検討ー	澤山郁夫・三宅幹子	2014.10	日本パーソナリティ心理学会第23回大会発表論文, 77.	
国内学会	eラーニング上の学習者同士の繋がる仕組みによって学習を回避してしまう者の特徴	澤山郁夫・三宮真智子・寺澤孝文	2014.11	日本教育心理学会第56回総会発表論文集, 359.	

学生氏名	真下 知子	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	女子大学生間のアドバイス場面における行動義務と心理的負担感の差異	真下知子, 山村麻子, 三宮真智子, 坂香里	2014.12	日本教育工学会論文誌, 38, 85-88	○
学術論文(年報)	女子大学生の困窮事態における言葉かけに対する認知と喚起される感情	山村麻子, 真下知子, 坂香里, 三宮真智子	2014.03	大阪大学教育学年報, 第19号, pp.49-67	○
国内学会	女子大学生間のアドバイス場面における言葉かけの収集	真下知子, 三宮真智子	2014.09	日本教育工学会第30回全国大会, P3a-1D-10	
国内学会	女子大学生間における言葉かけに対する意図認知ーアドバイス場面に着目してー	真下知子, 三宮真智子	2014.11	日本教育心理学会第56回総会, PA045	

学生氏名	中野 瑠美子	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	日常生活における論理性に対する価値観の日米比較	中野瑠美子・三宮真智子	2014.11	日本教育心理学会第56回総会論文集	
国内学会	日常生活における論理性に対する価値観の日米比較(2)	中野瑠美子・三宮真智子	2014.10	日本パーソナリティ心理学会	

指導教員	藤岡 淳子	講座/研究分野	教育心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	奥田 剛士	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議(proc.なし)	Treatment for released sex offenders into the community in Japan	Okuda.T, Fujioka.J, Kiryu.M, Muroi.S	2014.06	Asian Criminological Society	

学生氏名	坂東 希	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議(proc.なし)	児童自立支援施設におけるグループワークの実践報告ー女子児童を対象としたグループ運営における課題	坂東 希	2014.09	子ども虐待防止世界会議(第20回JaSPCAN 学術集会)	

学生氏名	田辺 裕美	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	刑務所出所者の社会再参加に必要な変化と支援: 回復した元受刑者のインタビューから	田辺裕美・藤岡淳子	2014.10	司法福祉学研究(14), 67-94, 日本司法福祉学会	○
国内学会	女性のアルコール依存症とアルコールクス・アノニマスへの参加を通じた回復	田辺裕美	2014.11	第25回日本嗜癮行動学会(鳥取)	○
報告書	第69回アメリカ犯罪学会における海外論文発表 刑務所からの成人出所者がたどる社会再参加への回復プロセス	田辺裕美	2014.04	季刊誌 生産と技術(66), 2, 138 (一般社団法人生産技術振興協会 大阪大学生産技術研究会)	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	田辺 裕美	平成26年度 科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	金 波	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表(シボジウム)	児童自立支援施設における女子児童を対象としたグループワークの力動	金波	2014.09	JaSPCAN 日本子ども虐待防止学会	

学生氏名	中西 美絵	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表(ポスター)	南スーダンの女児保護施設入所児童の示す問題行動の改善に向けてーあるセンターの取り組みからー	中西美絵	2014.05	日本アフリカ学会	

指導教員	老松 克博	講座/研究分野	臨床心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	大山 好弘	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(紀要)	小学1年男児Aとのプレイセラピー—「ペガシス」の行方—	大山 好弘	2015.01	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要, 20, 14-21.	○

学生氏名	赤川 力	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	言葉のコラージュを用いた潜在性統合失調症の思春期女子との心理面接	赤川力	2015.03	箱庭療法学研究, 27 (3), (印刷中)	○
学術論文(紀要)	言語連想検査とPAC分析併用言語連想検査との比較研究	赤川力	2015.03	大阪大学教育学系年報第20号(印刷中)	○
学術論文(紀要)	緊急支援と日常の臨床を繋ぐもの—患者・治療者元型とクライアントとカウンセラーとの関係性について—	赤川力	2014.12	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要第20号, 36-42.	
国内学会	双極性障害II型が疑われた中学生女子との面接過程—後任カウンセラーに引き継ぐまでの2年間—	赤川力	2015.02	九州臨床心理学会第43回大会, 抄録集, p20.	
発表(事例発表)	スクールカウンセリングにおける非行傾向の思春期男子をもつ母親面接	赤川力	2015.03	佐世保子ども精神保健研究会3月例会	

学生氏名	遠藤 大貴	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(紀要)	代受苦者の罪と赦し,そして結婚—30代男性との面接過程—	遠藤大貴	2014.12	大阪大学大学院人間科学研究科心理相談室紀要, 20, 46-53.	

学生氏名	西川 昭子	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(紀要)	「誇大性がエスカレートしていく50歳男性との面接課程」—‘イメージ面接’へのプロローグ—	西川昭子	2014.12	大阪大学大学院人間科学研究科、心理教育相談室紀要、第20巻、pp.88-95	○
国内学会	「避難場所」としての音楽の可能性に関する研究—RMT音楽療法における音楽の機能を考える—	西川昭子	2014.09	第14回日本音楽療法学会学術大会(名古屋)、150	○

学生氏名	原口 喜充	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(紀要)	幼稚園において保育者と模索したコンサルテーション過程—園児でも保護者でもなく保育者自身に着目して—	原口喜充	2014.12	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要	○
発表(研究会)	初学者として話題提供	原口喜充	2014.05	K式発達検査研究会主催K式事例検討会	
発表(シンポジウム)	大阪学生チームの振り返り	原口喜充・平野仁弥・小川将司	2015.02	子どものしあわせプロジェクトシンポジウム「子どものたちの未来をつなぐ子育て支援とは—地域におけるパパ活動を通して—」	
著書	大阪学生チームの振り返り	原口喜充ら	2015.02	未来につなぐ子育て支援のコツ—パパ活動実践報告—	

学生氏名	藤原 歩惟	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表(シンポジウム)	大阪学生チームの振り返り(編)	大阪学生チーム(代表:原口喜充)	2015.02	子どもの幸せプロジェクト実行委員会『未来につなぐ子育て支援のコツ—パパ活動実践報告—』,pp39-40	

指導教員	井村 修	講座/研究分野	臨床心理学
------	------	---------	-------

学生氏名	榊原 久直	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	障がい者入所施設における援助困難場面の同定と評価尺度開発	足立匡基, 榊原久直	2014.09	日本特殊教育学会第52回大会, ポスター発表	
国内学会	障害者入所施設支援員のバーンアウト防止を目指す介入の方向性、施設利用者と支援員のどちらへの介入が職業性ストレス緩和に効果的か?	榊原久直, 足立匡基	2014.09	日本特殊教育学会第52回大会, ポスター発表	
発表(研究会)	子どもの発達を“間”から考える—関係発達と心理臨床の視点から—	榊原久直	2014.04	心理科学研究会 2014年春の研究集会シンポジウム, 口頭発表(話題提供). 『いま, 乳幼児の研究について考えたいこと: 若手からの発信』	

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
報告書	同じ所に立てない女性との面接過程～天を焼く怒りと深海の孤独～	榊原久直	2014.12	大阪大学大学院人間科学研究科, 心理教育相談室紀要 20号 p.25-32	○
雑誌	関係性のなかで子どもが教えてくれること	榊原久直	2014.08	『臨床心理学のための「研究論文の教室」』, 臨床心理学. 増刊第6号 p194～195. 金剛出版	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	榊原 久直	平成 26 年度 科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	上野 紘子	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (シンポジウム)	筋ジストロフィーにおける心理的支援を考える	阪上由衣・上野紘子・藤野陽生	2014.08	日本心理臨床学会第 33 回秋季大会	
発表 (口頭発表)	DMD/BMD 患児における社会的認知に関する研究	松井美也子・藤野陽生・前田直子・船越愛絵・上野紘子・阪上由衣・齊藤利雄・松村剛・井村修	2014.05	第 56 回日本小児神経学会学術集会	

学生氏名	阪上 由衣	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (シンポジウム)	筋ジストロフィーにおける心理的支援を考える	井村修・阪上由衣・上野紘子・藤野陽生	2014.08	第 33 回日本心理臨床学会秋季大会 自主シンポジウム	
発表 (口頭発表)	DMD/BMD 患児における社会的認知に関する研究	松井美也子・藤野陽生・前田直子・船越愛絵・上野紘子・阪上由衣・齊藤利雄・松村剛・井村修	2014.05	第 56 回日本小児神経学会学術集会	

学生氏名	榎本 聖香	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (研究会)	DMD/BMD の AD/HD 傾向評価法の予備的検討	藤野陽生・井村修・阪上由衣・上野紘子・新垣ほのか・榎本聖香・松村剛・齊藤利雄・藤村晴俊	2015.01	第 1 回筋ジストロフィーの CNS 障害研究会	
発表 (班会議)	DMD/BMD の AD/HD 傾向評価法の予備的検討	藤野陽生・井村修・阪上由衣・上野紘子・新垣ほのか・榎本聖香・松村剛・齊藤利雄・藤村晴俊	2014.11	精神・神経疾患研究開発費『筋ジストロフィーのエビデンス創出を目的とした臨床研究と体制整備班』	

学生氏名	新垣 ほのか	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	健忘症患者における作話現象に関する検討	新垣ほのか・朴白順・上田敬太・村井俊哉・月浦崇	2014.09	日本神経心理学会	

指導教員	佐々木 淳	講座/研究分野	臨床心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	安達 友紀	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	Validation of the Japanese Version of the Pain Self-Efficacy Questionnaire in Japanese Patients with Chronic Pain	Adachi T., Nakae A., Maruo T., Shi K., Shibata M., Maeda L., Saitoh Y., & Sasaki J.	2014.08	Pain Medicine	○
学術論文 (学会誌)	Brain Oscillations, Hypnosis, and Hypnotizability	Jensen M., Adachi T. & Hakimian S.	2015.01	American Journal of Clinical Hypnosis	○
学術論文 (学会誌)	慢性痛の問題点と今後の取り組み	柴田政彦・山田恵子・前田吉樹・安達友紀・西上智彦・寒重之	印刷中	理学療法学	○
学術論文 (季刊誌)	当院における慢性痛に対する集学的診療	柴田政彦・西上智彦・安達友紀	印刷中	Anet	
国内学会	Pain Self-Efficacy Questionnaire 日本語版作成の試み	安達友紀	2014.09	日本心理学会第 78 回大会 (京都) 2AM-1-041	○
国内学会	認知・感情的要因が慢性疼痛患者の生活障害程度, 生活の質に及ぼす影響	安達友紀, 山田恵子, 西上智彦, 佐々木淳, 柴田政彦	2015.02	日本慢性疼痛学会第 44 回大会 (横浜) 一般演題 7-1	○

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
翻訳	第11章 慢性痛治療の基本原則	安達友紀	印刷中	「慢性痛・統合的心理行動療法」, IASP Press (Flor H. & Turk D) (2011) “Chronic Pain- An Integrated Biobehavioral Approach ” pp. 319-336	

学生氏名	竹田 剛	学年	DC3
------	------	----	-----

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.なし)	Improvement of the Self-Esteem of Patients with Bulimia Nervosa: An Eclectic Approach of Psychoeducation and a Self-Help Group	Takeda, T., Ikuno, T. & Sasaki, J.	2015.03	The 12th London International Eating Disorders Conference (London)	○
国際会議 (proc.なし)	Early intervention in eating disorders -based on the study of the relationship between developmental characteristics and coping styles in Japanese patients with eating disorders	Kigawa, E., Takeda, T., Takehisa, C. &Ikuno, T.	2014.11	9th International Conference on Early Psychosis (Tokyo)	○
エッセイ	私の研究論文執筆と、航海と、私	竹田剛	2014.08	臨床心理学, s6	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	竹田 剛	平成 26 年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	佐々木 恵太郎	学年	DC2
------	---------	----	-----

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (紀要)	家族を取り戻したい女性との面接過程	佐々木恵太郎	2015.01	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要, 第20巻, pp.67-73	

学生氏名	橋本 真希	学年	DC2
------	-------	----	-----

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	対人恐怖症の加害観念の確信度を高める要因(1)	橋本真希・佐々木淳	2014.09	日本心理学会第78回学会(京都) 1EV-1-039	
国内学会	対人恐怖症の加害観念の確信度を高める要因(2)	佐々木淳・橋本真希	2014.09	日本心理学会第78回学会(京都) 1EV-1-041	

学生氏名	照田 恵理	学年	DC1
------	-------	----	-----

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (紀要)	自閉症児と相互的な二者関係を結んだ臨床動作法の実践 —“コンコン狐”の援助—	照田恵理	2014.12	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要 第20号	○
国内学会	情動知能と心のゆとりの回復過程 —情動知能による回復プロセスの違いと臨床への応用可能性—	照田恵理	2014.08	第33回 日本心理臨床学会	

指導教員	野村 晴夫	講座/研究分野	臨床心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	土井 裕貴	学年	DC2
------	-------	----	-----

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (紀要)	夕立のように来談する小1男児とのプレイセラピー	土井裕貴	2014.12	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要 20号	○
学術論文 (年報)	対人援助職従事者におけるバーンアウトと感情労働の関係性について—事例分析を通じた検討—	土井裕貴	2015.03	大阪大学教育学系年報第20号	○
国内学会	対人援助職従事者におけるバーンアウト・感情労働の関係性～事例検討と通して～	土井裕貴	2014.09	対人援助学会第6回年次大会	

学生氏名	松村 江里香	学年	MC1
------	--------	----	-----

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	自伝的記憶における主観的時間に関する検討	松村江里香・野村晴夫	2014.09	日本心理学会第78回大会(京都), p.820.	

指導教員	小野田 正利	講座/研究分野	教育制度学
------	--------	---------	-------

学生氏名	佐藤 晴雄	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(その他)	副校長・教頭の資質能力の向上	佐藤晴雄					2014.08	教育展望	
学術論文(その他)	学校のガバナンスからみたコミュニティ・スクールの課題と展望	佐藤晴雄					2014.06	季刊教育法	
学術論文(その他)	コミュニティ・スクール類似制度の実態と特徴	佐藤晴雄					2014.04	ジャーナル 教育と時間	
学術論文(その他)	学校のガバナンスとコミュニティ・スクール	佐藤晴雄					2015.01	信濃教育	
学術論文(その他)	放課後・土曜学習に対して社会教育関係者は何をすべきか	佐藤晴雄					2015.01	社会教育	
学術論文(その他)	単身・無子世帯の増加と地域の捉え方	佐藤晴雄					2015.03	教職研修	
学術論文(その他)	総説 地域と連携・協力した教育の意義	佐藤晴雄					2015.02	初等教育資料	
学術論文(その他)	提言3 地域の教育力活用	佐藤晴雄					2014.08	総合教育技術	
学術論文(その他)	学校を元気にするコミュニティ・スクール(7)	佐藤晴雄					2014.09	季刊教育法	
学術論文(その他)	学校を元気にするコミュニティ・スクール(8)	佐藤晴雄					2014.12	季刊教育法	
学術論文(その他)	学校を元気にするコミュニティ・スクール(9)	佐藤晴雄					2015.03	季刊教育法	
著書	新・教育法規解体新書 ポータブル	佐藤晴雄・監修					2014.06	学陽書房	

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2014.05	佐藤晴雄	住民・保護者が学校運営に参画 コミュニティ・スクール	中国新聞
2014.05	佐藤晴雄	地域づくり貢献、不登校減少も 「顔が見える関係」 広がる一コミュニティスクール（学校運営協議会制度）	静岡新聞
2014.06	佐藤晴雄	プール開放	読売新聞
2014.07	佐藤晴雄	テレビ番組コメント「小学校のプール開放 この夏休み異変が…中止のワケ」	毎日放送[ちんぷいぷい]

学生氏名	吉田 卓司	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	スクールソーシャルワーカーによる授業観察の現状と課題 ～A市配置型スクールソーシャルワーカーの授業観察に関する実態調査を通して～	黒田将史, 中村有美, 野田正人, 丸目満弓, 吉田卓司					2015.05	学校ソーシャルワーク研究 10 (日本学校ソーシャルワーク学会)	○
学術論文(紀要)	高等学校看護教育におけるアクティブ・ラーニングの試みー衛生看護科- 「精神保健」 科目の教育実践と評価ー	新出育衣, 吉田卓司					2015.05	藍野学院紀要第 27 卷	○
国内学会	スクールソーシャルワーカーの授業観察における実践報告と考察～A市におけるスクールソーシャルワーカーへのアンケート調査を通して～	黒田将史, 中村有美, 野田正人, 丸目満弓, 吉田卓司					2014.07	日本学校ソーシャルワーク学会	
著書	第 11 章 矯正施設退所者と孤立	吉田卓司					2015.05	牧田満知子他編「現代社会の孤立を防ぐソーシャルワークとソーシャルキャピタルの連帯」ミネルヴァ書房	
解説	県立高校のバレー部員が顧問から暴行、暴言を受けたことにつき、県に対する国家賠償請求は認められるか	吉田卓司					2014.03	『学校事故の法律実務』新日本法規出版 追録 75, Pp. 610 / 13-610 / 20	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.09	吉田卓司	教育奨励金	藍野大学

学生氏名	上里 京子	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	「〈教育事情の日仏比較〉生活の教育」	上里京子					2014.09	フランス教育学会紀要 第 26 号 pp.143-144	
報告書	「これからの家庭科教育養成のあり方と全国家庭科部門の制度設計」	上里京子					2014.12	2014 年度日本教育大学協会全国家庭科部門大会 報告書 pp.30-55	
報告書	「キャリア開発・予防職業生活問題教育の日仏比較とカリキュラム再構築」	上里京子					2015.03	科学研究費補助金報告書	

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
その他	日本教育大学協会全国家庭科部門大会 シンポジウム コーディネーター	上里京子	2014.08	日本教育大学協会全国家庭科部門大会	
その他	日仏教育学会 2014年度研究大会 個人発表の部 司会	上里京子	2014.11	日仏教育学会 2014年度研究大会	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	上里京子	平成 26 年度科学研究費補助金(基盤研究 C)	独立行政法人 日本学術振興会

指導教員	園山 大祐	講座/研究分野	教育制度学
------	-------	---------	-------

学生氏名	前田 裕介	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	学生参加型 FD の発展と現状に関する基礎的研究	前田 裕介	2015.03	関西教育行政学会	

学生氏名	久保 真理	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
報告書 (大学)	「つながりの種」から～南三陸班のフィールドワークを通じて～	大瀧千輝・久保真理・長澤理加・西徳宏・村上広大	2014.03	未来共生プログラム 東日本大震災被災地復興フィールドワーク報告書, vol. 1	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.07	久保真理	大阪大学博士課程教育リーディングプログラム 独創的教育研究活動経費	国立大学法人 大阪大学

指導教員	平沢 安政	講座/研究分野	生涯教育学
------	-------	---------	-------

学生氏名	田中 稜	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	佐久間孝正『多文化教育の充実に向けて——イギリスの経験、これからの日本』	田中 稜	2015.03	未来共生学, 2, 379-381	
報告書	「つながり」の繋がり	金素馨・下朋世・田中稜・田平修・波田野希美	2015.03	未来共生学, 2, 295-302	

指導教員	木村 涼子	講座/研究分野	生涯教育学
------	-------	---------	-------

学生氏名	藤根 雅之	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	オルタナティブな教育の組織間ネットワークと市民的公共性-関西のフリースクールの活動を事例に-	藤根雅之	2014.09	日本教育社会学会第 66 回大会	
国際会議 (proc.なし)	日本におけるオルタナティブスクールの組織間ネットワークの展開過程-成員間の葛藤をはらむ対話の事例から-	藤根雅之	2014.11	日本社会教育学会・韓国平生教育学会第 6 回日韓学術交流研究大会	

指導教員	山本 ベバリー・アン	講座/研究分野	生涯教育学
------	------------	---------	-------

学生氏名	石倉 佑季子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	Developing intercultural competence through internationalization-at-home programs in Japan	Yukiko Ishikura	印刷中	SIETAR Japan Journal of Intercultural Communication, Issue 18	○
学術論文 (年報)	English medium instruction as internationalization strategy in Japanese higher education: Review of the literature.	Yukiko Ishikura	2015.03	大阪大学教育学年報	○
研究ノート	国内主要大学における国際バカロレア修了生受け入れの現状	津川万里, 石倉佑季子	2015.03	大阪大学教育学年報	○
国内学会	英語学位取得プログラムによる高等教育の国際化	石倉佑季子	2014.06	日本高等教育学会	
国内学会	国内主要大学における国際バカロレア修了者受け入れの現状	津川万里・石倉佑季子	2014.06	日本高等教育学会	

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.あり)	Do English-medium programs and internationalization make poor bedfellows?: Government expectations of the Japanese Global 30 program and student outcomes	Yukiko Ishikura	2014.07	Asian Studies Association of Australia Conference	○
国際会議 (proc.あり)	Internationalization of Japanese higher education at home: Turning challenges into opportunities.	Yukiko Ishikura	2014.08	The 13 <sup>th</sup> APRU Doctoral Students Conference	○
国際会議 (proc.あり)	Where should domestic IBDP students go?: University recognition of the IBDP in Japan	Yukiko Ishikura	2015.03	Comparative and International Educational Society 2015 Conference	○
著書	Enhancing the role of teaching assistants in the delivery of English medium courses	Yukiko Ishikura	印刷中	Yamamoto, B., Bysouth, D. Teaching quality handbook	

学生氏名	北野 知佳	学年	DC1
------	-------	----	-----

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2015.01-02	北野知佳	国際研究交流プロジェクト	大阪大学人間科学研究科 教育改革推進室

学生氏名	GYENES ADAM	学年	DC1
------	-------------	----	-----

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (年報)	Critical Thinking in definitions and in context.	Adam Gyenes	2015.03	大阪大学教育学年報	

学生氏名	RAKSHANDEHROO MAHBOUBEH	学年	MC1
------	-------------------------	----	-----

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	A study of sources of English language support for international students who are studying in the English language on higher degree programs in Japan A case study of Iranian students	Mahboubeh Rakhshandehroo	2014.09	JSES conference	

指導教員	志水 宏吉	講座/研究分野	教育文化学
------	-------	---------	-------

学生氏名	上田 勝江	学年	DC3
------	-------	----	-----

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
報告書	第1章アメリカ 一格差是正と標準化への苦闘一	深堀 聡子・新谷 竜太郎・岡邑 衛・上田勝江	2014.05	学力格差是正政策の国際比較 最終報告書	
国内学会	専門学校生のキャリア意識に関する研究 一専門学校から大学へ編入した学生の語りから一	上田勝江	2014.09	日本教育社会学会第66回大会	

学生氏名	敷田 佳子	学年	DC3
------	-------	----	-----

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	"Educational Strategies of Highly Educated Chinese Women Married to Japanese Men: A Preliminary Study on Child Raising in Japan."	Shikita, Keiko	2014.03	<i>Educational Studies in Japan: International Yearbook</i> , No.8, pp.93-106.	○
学術論文 (年報)	「グローバル化時代における在外教育施設の多様化の実態——グアム日本人補習校に対するアンケート調査を手がかりに」	芝野淳一・敷田佳子	2014.05	『教育文化学年報』, 大阪大学大学院人間科学研究科教育文化学研究室, 9号, pp.28-41.	
著書	「外国人学校研究の動向——変容と継続が描き出す外国人学校の『いま』」	敷田直子・芝野淳一・敷田佳子・山本晃輔	2014.07	『日本の外国人学校——トランスナショナルリティをめぐる教育政策の課題』第I部, 第2章, 明石書店, pp.36-49.	
著書	「1条校とともにある学校——関西学院大阪インターナショナルスクール」	敷田佳子	2014.07	『日本の外国人学校——トランスナショナルリティをめぐる教育政策の課題』第V部, 第3章, 明石書店, pp.331-334.	

学生氏名	中村 瑛仁	学年	DC3
------	-------	----	-----

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	教員集団内における教職アイデンティティ確保戦略-アイデンティティ・ワークの視点から	中村瑛仁	2015.05	教育社会学会研究, 96	○
学術論文 (紀要)	教職志望学生の学びの諸相(1)-初年次生を対象とした2012年質問紙調査の結果から	川村光・中村瑛仁・長谷川哲也	2014.03	教育総合研究叢書 7, 関西国際大学教育総合研究所, pp.129-141.	
学術論文 (紀要)	2012-2013年度調査からみる教職志望学生の社会意識の経年変化-教員養成改革の理想と現実(2)	川村光・長谷川哲也・中村瑛仁・越智康詞・油布佐和子・加藤隆雄・藤田武志	印刷中	教育総合研究叢書 8, 関西国際大学教育総合研究所 (印刷中).	
学術論文 (年報)	教員の自己物語-中学校教員を事例として	中村瑛仁	2014.04	教育文化学年報 9, 大阪大学人間科学研究科教育文化学研究室, pp.42-51.	

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	教職アイデンティティの確保戦略-アイデンティティ・ワークの視点から	中村瑛仁	2014.09	日本教育社会学会第 66 回大会発表論文集, pp.232-233.	
国内学会	2012-2013 年度調査からみる教職志望学生の社会意識の経年変化-教員養成改革の理想と現実 (2)	中村瑛仁・長谷川哲也	2014.09	日本教師教育学会第 24 回研究大会発表論文集, pp. 142-143.	
著書	第 3 章 福井の教師	中村瑛仁	2014.10	志水宏吉・前馬優策『福井県の学力・体力がトップクラスの秘密』(中公新書ラクレ, 508) 中央公論新社 pp.123-162.	
報告書(大学)	第二章 オーストラリア-先住民の社会的包摂を目指して (1、2 節)	中村瑛仁	2014.05	平成 26 年度科研費報告書 学力格差是正政策の国際比較 最終報告書, 大阪大学人間科学研究科教育文化学研究室, pp.58-63.	

学生氏名	学年				
薮田 直子	DC3				
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(年報)	教員採用過程における外国籍者の〈経験〉—採用年代に着目したライフヒストリー分析をとおして—	薮田直子・棚田洋平・榎井縁	2015.03	大阪大学教育学年報 第 20 号	○
学術論文(年報)	ニューカマー外国人の子どもの就学前支援—こくべプレスクールの実践例から考える	薮田直子	2014.04	大阪大学 教育文化学年報 第 9 号, pp.52-62.	
国内学会	公立学校教員になるということ—外国籍教員の教員採用年代に着目して	榎井縁・棚田洋平・薮田直子・館奈保子・中島智子	2014.09	日本教育社会学会第 66 回大会	
著書	第 I 部第 2 章「外国人学校研究の動向—変容と継続が描き出す外国人学校のいま」	薮田直子・芝野淳一・山本晃輔・敷田佳子	2014.07	志水宏吉・中島智子・鍛冶致編「日本の外国人学校—トランスナショナルリティをめぐる教育政策の課題」, 明石書店, pp.36-38.	
著書	第 II 部第 1 章「学校は次世代のトムのために—西播朝鮮初中級学校」	薮田直子	2014.07	志水宏吉・中島智子・鍛冶致編「日本の外国人学校—トランスナショナルリティをめぐる教育政策の課題」, 明石書店, pp.58-72.	
報告書(科研費)	第 2 部第 2 章「外国籍(ルーツ) 教員の教育実践と役割期待」	薮田直子	2014.03	平成 24~25 年度科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究) 課題番号:24653256, 研究成果報告「公立学校における外国籍教員の実態と課題の解明」, pp.90-107.	
報告書(大学)	外国人問題理解のための資料集 1 外国人の公務就任権	榎井縁・近藤敦・藤川正夫・館奈保子・薮田直子	2014.03	未来共生リーディングス vol.2, 大阪大学未来戦略機構	
報告書(大学)	「1. 在留外国人統計—在留資格」, 「2. 在留外国人統計—都道府県別」, 「3. 在留外国人統計—人口推移」, コラム 27「通称名と日本社会」, 新聞資料編集。	薮田直子	2014.03	榎井縁編「外国人問題理解のための資料集 2 外国人に関する統計と資料」, 未来共生リーディングス vol.3, 大阪大学未来戦略機構, pp.29-43, pp.44-57, pp.58-71, p.157, pp.164-169.	
報告書(大学)	第 6 章「KFC のとりくみ」	薮田直子	2014.03	今井貴代子編「外国にルーツをもつ子どもと支援活動—居場所づくり・学習支援の現場から」未来共生リーディングス vol.7, 大阪大学未来戦略機構, pp.111-119.	
報告書(大学)	第 8 章「KFC の子どもたちが抱える課題と学習支援活動」	薮田直子	2014.03	今井貴代子編「外国にルーツをもつ子どもと支援活動—居場所づくり・学習支援の現場から」未来共生リーディングス vol.7, 大阪大学未来戦略機構, pp.138-156.	

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2014.9	薮田直子	日本教育社会学会第 6 回学会奨励賞・論文の部	日本教育社会学会

学生氏名	学年				
志田 未来	DC2				
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(紀要)	学校給食の役割再考	志田未来	2014.04	教育文化学年報	
国内会議(学会)	不安定家庭の生徒を支える中学校	志田未来	2014.09	日本教育社会学会	
国際会議(Proc.なし)	Children's Perspectives on the Challenges of Single Parenthood	Mirai Shida	2014.11	On New Shores Conference	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	志田未来	平成 26 年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	末岡 加奈子	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	グローバル化時代における貧困予防としての「言語力」—オランダの非西洋系児童集中校の事例から—	末岡加奈子		2014.06	教育学研究, 81(2), 200-213			○	
国内学会	貧困予防としての「言語力」育成にかかる教育実践—オランダの「非西洋系児童集中校」の事例から—	末岡加奈子		2014.07	日本比較教育学会第 50 回大会(名古屋大学)				
国内学会	Potential for parental support by school organization: Implications from Dutch primary schools with high concentrations of non-Western children	Kanako Sueoka		2014.09	日本教育社会学会第 66 回大会(松山大学), 台湾教育社会学会との交流・英語特設部会				
報告書	大阪大学「研究留学助成金」報告書	末岡加奈子		2014.09	大阪大学国際交流オフィス				

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2015.01	末岡加奈子	2014 年度 EUIJ 関西研究調査旅行助成(第二次募集)	EU インステテュート関西(EUIJ 関西)

学生氏名	鍛冶 直紀	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	定時制高校における新聞利用の可能性—「現代社会」の授業実践から—	鍛冶直紀		2015.03	日本 NIE 学会誌 第 9 号			○	
学術論文(研究室年報)	夜間定時制高校がなくなる日—「有用性」と「かけがえのなさ」の磁場で	鍛冶直紀		2014.03	教育文化学年報第 9 号				
学術論文(紀要)	ドイツの学力是正政策の展開とその特徴—ベルリンを事例に—	森田英嗣・石原陽子・布川あゆみ・鍛冶直紀		2015.03	大阪教育大学紀要第 63 巻 2 号				
国内学会	ドイツの学力是正政策と現状—ベルリン市基礎学校での参与観察をもとに—	森田英嗣・石原陽子・布川あゆみ・鍛冶直紀		2014.09	日本教育社会学会				
報告書(研究成果)	ドイツ—学力格差是正政策の光と影	森田英嗣・石原陽子・布川あゆみ・鍛冶直紀		2014.05	学力格差是正政策の国際比較				

学生氏名	野崎 友花	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	キャリア形成期における教員のジェンダー意識	野崎友花		2014.09	日本教育社会学会 第 66 回大会(愛媛県)				
国内学会	公立中学校の女性教師とライフキャリア	野崎友花		2015.02	日本教師学会第 16 回大会(東京都)				
著書	「福井の中学校—「あたりまえ」を積み重ねる」	野崎友花、志水宏吉、中村瑛仁、川畑和久		2014.10	『福井の教育—学力・体力トップクラスの秘密』中公ラクレ新書				
報告書	学校つながりから学力向上へ	野崎友花		2015.02	『平成 26 香川県まんのう町立小学校・中学校 調査報告書』				

学生氏名	二羽 泰子	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(年報)	「障害児教育史再考—レトリックに埋没した論理の解明を通して」	二羽泰子		2014.04	『教育文化学年報』第 9 号 2013 年度、大阪大学大学院人間科学研究科教育文化学研究室				
国内学会	「障害児を共同体の一員とする学校文化の可能性」	二羽泰子		2014.09	日本教育社会学会第 66 回大会口頭発表、松山大学				

学生氏名	金南 咲季	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	外国人学校生とは地域社会をどのように捉えているのか?—T 校生徒に対する質問紙調査から—	金南咲季		2015.04	教育文化学年報				
発表	地域における「共生」の生成と展開—コンタクト・ゾーンにおける関係性の変容に着目して—	金南咲季		2014.03	Cultural Typhoon 2015, カルチュラル・トラジェクトリー研究会				

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.07	金南咲季	外国人学校と地域によるコミュニティ形成過程に関する研究	大阪大学未来戦略機構

学生氏名	小島 悠美子	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(年報)	対面的相互作用におけるニューカマー児童の社会関係資本論のモデル化	小島悠美子		2015.03	大阪大学教育文化学年報第 10 号				

学生氏名	内匠 裕子	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (年報)	身体論での一考察—教育への接続を図るために	内匠裕子	2015.03	教育文化学年報第 10 号		

学生氏名	中村 誠吾	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (年報)	教員養成課程の学生たちの学びの文脈	中村誠吾	2015.03	教育文化学年報		

学生氏名	西 徳宏	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (年報)	日本における「効果のある学校」研究の展開と課題	西徳宏	2015.03	教育文化学年報		
国内学会	『効果のある学校』の成立と持続—2013年大阪学力調査から—	志水・高田・西	2014.09	日本教育社会学会		

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.07	西徳宏	リーディング大学院独創的研究活動費	大阪大学

学生氏名	西裏 慎司	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (年報)	教師の成長にかかわる実践研究サークルの役割	西裏慎司	2015.03	教育文化学年報第 10 号/大阪大学大学院人間科学研究科教育文化学研究室		

学生氏名	長谷川 梓	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
研究ノート	社会人経験のある教員の職業的社会的化	長谷川梓	2014.04	教育文化学年報第 9 号		
国内学会	『効果のある学校』の成立と持続—2013年大阪学力調査から—	志水宏吉・高田一宏・若槻健・知念渉・中村誠吾・長谷川梓・西徳宏	2014.09	日本教育社会学会第 66 回大会		

指導教員	高田 一宏	講座/研究分野	教育文化学
------	-------	---------	-------

学生氏名	李 芸	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (年報)	中国の小学校における総合学習の可能性	李 芸	2015.04	教育文化学年報		

2-2-6. グローバル人間学系

グローバル人間学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率	※在籍者には休学者を含む
	73 名	64 名	87.7 %	37 名	50.7 %	

指導教員	中村 安秀	講座/研究分野	国際協力学
------	-------	---------	-------

学生氏名	AROCHA IZABEL	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	Interpreting Culture: Exploring the Professional Interpreter Perspectives Interpreting Culture	Arocha	2014.11	IMIA Japan Symposium, Tokyo University Japan		
国際会議 (proc.あり)	Interpreting Culture: Exploring the Professional Interpreter Perspectives	Arocha	2014.05	InterpretAmerica Summit		
国際会議 (proc.あり)	Interpreting Culture: Exploring the Professional Interpreter Perspectives	Arocha	2014.09	International Medical Interpreters Association Trainers Symposium		
Taught class for professor	Taught the Medical Interpreting Skills Summer course in August 2014	Arocha	2014.08	Osaka University summer course		

学生氏名	江角 伸吾	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	メキシコ合衆国農村部での思春期ピアエデュケーションが地域住民の健康意識に及ぼす影響	江角伸吾、吉田和隆、上原里程、春山早苗、高村寿子、阿相栄子	2015.01	国際保健医療 第29巻 第4号	○	
学術論文 (学会誌)	わが国のへき地診療所における看護活動の特徴—2003年、2008年、2013年の比較から—	春山早苗、江角伸吾、関山友子、青木さぎ里、島田裕子、塚本友栄、鈴木久美子、山田明美、中島とし子、福田順子	2015.03	日本ルーラルナース学会誌 第10巻	○	
学術論文 (学会誌)	へき地診療所に勤務する看護師が認識した看護活動に関連する困難感	関山友子、湯山美杉、江角伸吾、山田明美、中島とし子、福田順子、鈴木久美子、塚本友栄、島田裕子、青木さぎ里、春山早苗	2015.03	日本ルーラルナース学会誌 第10巻	○	

学生氏名	矢元 貴美	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	フィリピン人の親を持つ子どもたちの学校への適応と日本の学校で学ぶ意義の解釈—公立高等学校で学ぶ生徒たちの事例から	矢元貴美	2014.06	第19回フィリピン研究会全国フォーラム (広島)		

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2014.11	矢元貴美	フィリピンの主要都市の概要、料理、先祖祭祀、多言語の状況について	『月刊やいま』2014年11月号、No.251

学生氏名	渡邊 智子	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国際会議 (proc.あり)	Empowerment of recipients through south-south cooperation in HIV/AIDS: A case study from Thailand to Uganda.	Watanabe T. Nakamura Y.	2014.10	46th Asia Pacific Academic Consortium for Public Health (APACPH) conference. (Kuala Lumpur)	○	
国際会議 (proc.あり)	The effects of South-South cooperation in HIV/AIDS: A case study of the support from Thailand to Uganda.	Watanabe T. Nakamura Y.	2014.08	13th The Association of Pacific Rim Universities (APRU) Doctoral students conference. (Jakarta)	○	
発表 (パネリスト)	「ハンダイのハカセの歩き方 vol.3」	渡邊智子	2014.10	第3回学際融合教育サロン「ハンダイのハカセの歩き方 vol.3」(主催:大阪大学全学教育推進機構企画開発部大学院横断教育部門) 於:大阪大学.		

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	渡邊智子	平成26年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)・「タイ国による国内外に向けたエイズ対策支援活動」	日本学術振興会

学生氏名	渡辺 弘之	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	ベトナムのハンセン病(元)患者が参加する自立支援プログラムの現状と課題	渡辺 弘之	2014.09	第87回日本ハンセン病学会総会・学術大会、所沢市民文化センター	○	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	渡辺 弘之	平成 26 年度科学研究費補助金 (基盤研究 C)	日本学術振興会

学生氏名	小笠原 理恵	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	言語や文化の異なる患者における食文化の重要性～大学病院スタッフに対する質問紙調査より～	小笠原理恵、中村安秀、小笠原祐希子、史賢林、大川敦子、南谷かおり、中田研、澤芳樹	2015.02	日本国際保健医療学会西日本地方会 (鹿児島純心女子大学)	○
国際会議 (proc.あり)	Code of Ethics for Medical Interpreters	Ogasawara R., Nakamura Y.	2014.10	46th APACPH Conference (Kuala Lumpur)	○

学生氏名	木村 暁	学年	DC1
------	------	----	-----

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2014.04～	木村 暁	WHO 発行のニュースリリース 12 か月分の翻訳	日本 WHO 協会マンスリーマガジン

学生氏名	小松 法子	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	タンザニアの母子保健サービスにおける父親の役割	小松法子、中村安秀	2015.02	国際保健医療学会 西日本大会	

指導教員	澤村 信英	講座/研究分野	国際協力学
------	-------	---------	-------

学生氏名	井ノロ 一善	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	南アフリカにおける教育の分権化政策と新たな教育格差について	井ノロ一善	2014.05	アフリカ学会第 51 回学術大会	

学生氏名	KRONICK REBECCA	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (研究会)	Identity & Schooling: The Effects of Education on Somali You in Nairobi	Rebecca Kronick	2014.04	Africa Educational Research Forum	

学生氏名	日下部 光	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	マラウイの中等学校教師の指導キャリアーシップ機能の視点から	日下部光	2014.04	アフリカ教育研究フォーラム	
国内学会	マラウイの中等学校教師の指導力ー青年海外協力隊員の視点から	日下部光	2014.07	日本比較教育学会	○
国内学会	マラウイにおける孤児の生活と就学支援ー中等教育における実践ー	日下部光	2014.10	アフリカ教育研究フォーラム	
発表 (シンポジウム)	マラウイの中等学校における孤児の就学継続に関する取り組み	日下部光	2014.11	第三世界の教育研究会	
国内学会	マラウイにおける孤児の生活と就学ー中等教育の事例ー	日下部光	2014.11	国際開発学会	○
国内学会	マラウイの中等学校における孤児の就学を支える仕組みーNGO による支援に着目してー	日下部光	2015.02	国際ボランティア学会	○
発表原稿	マラウイにおける孤児の生活と就学ー中等教育の事例ー	日下部光	2015.03	アフリカ教育研究	
学術論文	発展途上地域における困難な状況にある子どもの教育研究ー検討すべき研究の視点と方法-	日下部光	2015.03	アフリカ教育研究	○

学生氏名	山本 香	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	南スーダンにおける紛争後の初等教育と学校運営の実態ー教授言語の変更に着目してー	澤村信英・山本香・内海成治	2015.01	比較教育学研究	○
研究ノート	南スーダンにおける紛争後の教育再建と教員ージュバ市内小学校の事例からー	山本香	2014.12	アフリカ教育研究	○
研究ノート	難民がつくる新たなコミュニティの可能性ーシリア難民が経営する学校をめぐってー	山本香	2015.02	ボランティア学研究	○
国内学会	分裂する社会における教育ーTonny Gallagher (2004) <i>Education in Divided Societies</i> より報告ー	山本香	2014.06	インクルーシブ教育研究会	

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	難民による避難に関する自発的意思決定の要因と教育に対する意識—シリア難民による欧州への移動に着目して—	山本香	2014.10	アフリカ教育研究フォーラム	
国内学会	難民となったシリア人生徒の就学理由—トルコにおいて難民により運営される学校を中心に—	山本香	2014.11	国際開発学会	○
国内学会	難民間のコミュニティ形成と学校の役割—シリア難民の事例—	山本香	2014.12	アジア教育研究会	
国内学会	シリア難民による学校運営と公共性の保障	山本香	2015.02	国際ボランティア学会	○
国際会議 (proc.あり)	Linking Displaced Individuals through Children's Schooling: A Case Study of Syrian Refugee-Managed Schools in Turkey	Kaoru Yamamoto	2014.04	Africa Educational Research Forum	○
国際会議 (proc.あり)	Fostering Unified Community through Children's Schooling: A Case Study of Displaced Syrians in Turkey	Kaoru Yamamoto	2014.05	Comparative Education Society of Asia	○
国際会議 (proc.あり)	How Do Syrian-managed Schools Help Their Children in Turkey?: Mitigating the Vulnerabilities of Refugee Children under Conflict	Kaoru Yamamoto	2015.03	Comparative and International Education Society	○
調査報告	紛争後南スーダンのオルタナティブ教育—成人の学習意欲と社会背景—	澤村信英・山本香	2014.10	国際教育協力論集	
フィールドワーク報告	ケニアにおけるソマリア難民の第三国定住プロセス—援助関係者へのインタビューを中心に—	山本香	2015.03	未来共生学	

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2014.07	山本香	若手難民研究者奨励賞	難民研究フォーラム
2014.10	山本香	優秀研究発表賞	アフリカ教育研究フォーラム

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.07	山本香	若手難民研究者奨励賞	難民研究フォーラム

学生氏名	國政 歩美	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	ケニアの自然環境変化と学校教育	國政歩美	2014.11	第25回国際開発学会	○
国内学会	ケニアの半乾燥地帯の学校における自然災害に対する活動	國政歩美	2015.02	国際ボランティア学会第16回	
国際会議 (proc.なし)	Schooling under the Threads of Environmental Change in Kenya	Ayumi Kunimasa	2015.03	Comparative International Education Society 2015	○
発表 (研究会)	学校における環境教育が生徒の自然環境認識と配慮行動形成に与える影響	國政歩美	2014.04	第13回アフリカ教育研究フォーラム	
発表 (研究会)	ケニアにおける自然環境変化と学校教育	國政歩美	2014.07	グローバル人間学研究会	
発表 (研究会)	ケニアの生徒の自然環境認識と環境配慮行動	國政歩美	2014.10	第14回アフリカ教育研究フォーラム	

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2014.10	國政歩美	優秀研究発表賞	アフリカ教育研究フォーラム

学生氏名	LKHAGVASUREN CHULUUNTSETSEG	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	Students Self-perception on Development of Employability Skills at Vocational Education and Training Center in Ulaanbaatar	Lkhagvasuren Chuluuntsetseg	2015.02	The Bulletin of Global Human Sciences, Vol.7, pp.109-122	
国際会議 (proc.なし)	Exploring the Students' Employability Skills: Case of Vocational Education and Training Center of Mongolia	Lkhagvasuren Chuluuntsetseg	2015.01	Hawaii International Conference on Education 2015	○

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2015.03	Lkhagvasuren Chuluuntsetseg	Participating in the Study in Japan Fair in Ulaanbaatar	OIE Bulletin /OIE news letter

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2015.02	Lkhagvasuren Chuluuntsetseg	Financial aid for the participation in an international conference by graduate students	Graduate School of Human Sciences

学生氏名	朝隈 芽生	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	イランにおけるアフガニスタン難民自主運営校の役割—生徒と教員のアイデンティティに注目して	朝隈芽生		2014.10	第14回アフリカ教育研究フォーラム(京都)				
国内学会	イランにおけるアフガニスタン難民の教育—若者のアイデンティティに着目して	朝隈芽生		2014.11	国際開発学会第25回全国大会(千葉)				○
国内学会	難民による自主運営校とボランティア—イランにおけるアフガニスタン難民による学校運営を事例に	朝隈芽生		2015.02	国際ボランティア学会第16回大会(京都)				
国内学会	「長期化する難民状態」にある人々とその難民性—イランにおけるアフガニスタン難民による学校運営を事例に	朝隈芽生		2015.03	2014年度イラン研究会(東京)				

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2014.11	朝隈芽生	優秀ポスター発表奨励賞	国際開発学会

学生氏名	小川 未空	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	ケニアの中等学校における生徒の学習実態—就学継続動機に着目して—	小川未空		2014.10	第14回アフリカ教育研究フォーラム(京都)				
国内学会	ケニアにおける中等教育の普及が学校現場に与える影響—生徒の就学動機に着目して—	小川未空		2014.11	国際開発学会第25回全国大会(千葉)				○
国内学会	ケニアの中等学校における就学動機が多様化—教育の普及を生徒の視点から見る—	小川未空		2014.12	第44回アジア教育研究会(大阪)				
フィールドワーク報告	ケニアの中等教育における進路多様校の実態	小川未空		2015.03	未来共生学ジャーナル 第2号 321-331頁				
国際会議 (proc.あり)	The Impact of Secondary School Expansion on Students' Learning in Kenya: Focusing on Their Diversified Characteristics and Motivation	Miku Ogawa		2015.03	Comparative and International Educational Society (America)				○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.09	小川未空	独創的教育研究活動経費	大阪大学博士課程教育リーディングプログラム

学生氏名	宋 柔奈	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	韓国の開発援助とその形成過程—民間企業および市民社会の活動に着目して	宋柔奈		2014.10	国際開発学会第25回全国大会(千葉)				○

指導教員	石井 正子	講座/研究分野	紛争復興開発論
------	-------	---------	---------

学生氏名	坂田 有弥	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (その他)	ジンバブエの『捻れ』と『民主化』を問う: 土地問題と2013年総選挙からの一考察	坂田 有弥		2014.04	『アフリカ』54: 46-55				
発表 (その他)	ジンバブエの「民主化」をめぐる国際社会の捻れ—土地問題と2013年総選挙からの一考察	坂田 有弥		2014.11	国際政治学会福岡大会				
翻訳	国連開発計画(UNDP)の歴史—国連は世界の不平等にどう立ち向かってきたか(世界歴史叢書) クレイグ・マーフィー著	クレイグ・マーフィー著、(監修) 峯陽一・小山田英治、(翻訳) 内山智絵、石高真吾、福田州平、坂田有弥、岡野英之、山田佳代		2014.03	明石書店				

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.06	坂田有弥	2014年度日本人留学生奨学金	公益財団法人 平和中島財団

指導教員	千葉 泉	講座/研究分野	多文化共生社会論
------	------	---------	----------

学生氏名	額田 有美	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名		発行/発表年月		掲載誌名/書名/会議(学会)名		審	
国際会議 (proc.あり)	Los antropólogos en el ámbito jurídico-penal en Costa Rica: análisis cualitativo desde el peritaje cultural					Yumi Nukada		2014.09	La 6ta Conferencia del Consejo de Estudios Latinoamericanos de Asia y Oceanía (Kioto)				○
発表 (研究会)	コスタリカ現地調査についての中間報告 —先住民居留地住民にとっての「文化鑑定」とは?—					額田有美		2014.10	2014 年度 第 2 回グローバル人間学研究会(大阪)				

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2014.03	額田 有美	人間科学研究科賞	大阪大学大学院人間科学研究科

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	額田 有美	平成 26 年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

指導教員	藤目 ゆき	講座/研究分野	多文化共生社会論
------	-------	---------	----------

学生氏名	熊野 沙織	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名		発行/発表年月		掲載誌名/書名/会議(学会)名		審	
発表 (研究会)	フィリピン政府の「慰安婦」問題への対応に関する一考察					熊野沙織		2014.12	グローバル人間学研究会				

指導教員	三好 恵真子	講座/研究分野	人間環境論
------	--------	---------	-------

学生氏名	姉崎 正治	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名 / 発表者名		発行年月 / 発表日		掲載誌名/書名/会議(学会)名		審査	
学術論文 (学会誌)	ペルー第五代副王トレドのポトシ銀山開発事業における廃鉱石、鉱泥からの資源回収—歴史資料から読み解く現代社会への示唆					姉崎正治、山本高郁、三好恵真子		2014.11	廃棄物資源循環学会誌				○
学術論文 (学会誌)	ポトシ銀山の先取的な鉱業システム—歴史資料から再評価する第五代副王 Toledo の環境諸施策等に関する新たな知見					姉崎正治、山本高郁、三好恵真子		2015.03	日本鉱業史研究				○
学術論文 (学会誌)	高速回転ミルによる使用済携帯電話の破碎と貴金属成分の濃集現象					姉崎正治、山本高郁、三好恵真子		2015.03	廃棄物資源循環学会論文誌				○
学術論文 (学会誌)	各種の市販ブレード式高速回転ミルによる使用済携帯電話と米粉の破碎過程の動力学的検討					姉崎正治、山本高郁、三好恵真子		2015.03	廃棄物資源循環学会論文誌				○
国際会議 (proc なし)	世界の小規模金採掘 (ASGM) の実態と Zero Mercury に向けての実践研究					姉崎正治、山本高郁、三好恵真子		2014.10	東アジア“生命健康圏”構築に向けて—大気汚染と健康問題を考える日中国際会議				
報告書 (大学)	世界の小規模金採掘 (ASGM) の実態と Zero Mercury に向けての実践研究					姉崎正治、三好恵真子		2015.02	東アジア“生命健康圏”構築に向けて—大気汚染と健康問題を考える日中国際会議 (OUFC ブックレット Vol.6)				○
報告書 (環境省)	モザンビークおよびケニアの小規模金採掘 (ASGM) の低エネルギー型【Zero Mercury】プロセスの実現と持続的な地域社会形成に向けた新産業開発の提案					姉崎正治、山本高郁		2014.09	水銀条約に関する小規模金採掘現場の環境改善に関する打ち合わせ				

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.09	姉崎 正治	大阪大学機能強化分 RA 受入	大阪大学

学生氏名	由本 優子	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名		発行/発表年月		掲載誌名/書名/会議(学会)名		審	
国内学会	ベトナム南部の地方都市における幼稚園児の生活習慣～3歳児の生活習慣と肥満に関する調査：2011年と2013年の比較～					由本優子・三好恵真子		2014.05	日本生活学会				
国内学会	ベトナム南部の地方都市における幼稚園児の栄養の現状～5歳児の生活習慣及び食習慣に関する調査～					由本優子		2014.08	日本栄養改善学会				

学生氏名	橘高 彰斗	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (大会)	ジョン・ラスキンの受容能力概念について	橘高彰斗	2014.05	文化経済学会大会					
発表 (大会)	機能主義の観点から見る自然資本と文化的価値	橘高彰斗	2014.06	文化経済学会関西支部会					
発表 (関西支部会)	ジョン・ラスキンの固有価値論と経済的価値概念について	橘高彰斗	2014.07	日本生活学会大会					
発表 (ポスター)	生命が共有し得る価値とは何かーラスキンの固有価値論を基礎としてー	橘高彰斗	2014.10	中国文化フォーラム日中環境セミナー					
報告書 (ブックレット)	生命が共有し得る価値とは何かーラスキンの固有価値論を基礎としてー	橘高彰斗	2015.03	中国文化フォーラム日中環境セミナー					

学生氏名	胡 毓瑜	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (国内誌)	人の心理状態を可視化する試み ー 脈波におけるカオス解析から判別する精神疾患患者の特徴と実践における新たな展望 ー	三好恵真子・胡毓瑜	2015.01	<i>New Food Industry</i> 2015 Vol.57 No.1	○				
学術論文 (紀要)	脈波と脳波の非線形解析並びに音楽刺激による両者の挙動の比較検討	胡毓瑜・三好恵真子	2015.03	大阪大学人間科学紀要第 41 巻					
国際会議 (proc.あり)	浙江舟山群岛新区漁業資源管理制度的整理と討論以及对漁業資源修复的思考-通过调查了解渔民的认识和相关意见,从渔民的立场上对如何实行制度展开讨论与展望-	胡毓瑜・三好恵真子	2014.08	第八回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境」	○				
国際会議 (proc.あり)	脈波におけるカオス解析から判別する鬱病患者の特徴と実践への展望-中国における心理問題への応用展開の可能性-	三好恵真子・胡毓瑜	2014.08	第八回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境」	○				
国際会議 (proc.あり)	舟山群岛新区海域における漁業資源の現状と海洋生態の保護・修復への展望—現行制度や生態系に対する漁民の認識や意見に関する分析	胡毓瑜・三好恵真子	2014.10	「東アジア“生命健康圏”構築に向けて：大気汚染と健康問題を考える日中国際会議」	○				
国際会議 (proc.あり)	脈波におけるカオス解析から判別する精神疾患患者の特徴及び中国における心理問題への応用展開の可能性	三好恵真子・胡毓瑜	2014.10	「東アジア“生命健康圏”構築に向けて：大気汚染と健康問題を考える日中国際会議」	○				
国内学会	浙江省舟山新区海域における漁業資源の現状と海洋生態の保護・修復への展望—漁民の視点からみる現行政策・制度の合理性、効率性および実行—	胡毓瑜・三好恵真子	2014.05	第 41 回日本生活学会総会					
国内学会	脈波のデータから分析したうつ病患者の特徴と実践への展望	胡毓瑜・三好恵真子	2014.05	レオロジー学会 2014 年通常総会及び第 41 年会					
国内学会	脈波と脳波の非線形解析並びに音楽刺激による両者の挙動の比較検討	胡毓瑜・三好恵真子	2014.10	第 62 回レオロジー討論会					

学生氏名	松村 悠子	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	離島におけるエネルギー開発の現状と今後の展望 - 独立電力連系の大規模離島における事例検討から -	松村悠子,三好恵真子	2014.05	第 41 回日本生活学会					
国内学会	離島の地域力を活かす 新エネルギー開発・実践とその展望-独立電力連系の大規模離島における事例検討から-	松村悠子	2014.06	第 49 回環境社会学会					
国際会議 (proc.あり)	An overall research about energy development in remote islands in Japan: Case studies in islands without interconnection to mainland.	松村悠子	2014.09	ISISA Islands of the World XIII Small is Beautiful: Island Connections and Innovations, E1	○				
国際会議 (proc.なし)	新エネルギー開発を活かした地域振興の実現に向けてー沖縄県宮古島の事例からの一考察ー	松村悠子,三好恵真子	2014.10	東アジア"生命健康圏"構築に向けて 大気汚染と健康問題を考える日中国際会議, 21 世紀課題群と中国 (大阪大学未来研究イニシアティブ)					
国内学会	離島における風力発電事業の導入事例から分析する課題と展望	松村悠子,三好恵真子	2014.09	環境科学会 2014 年会	○				
発表 (研究室 公開講座)	新エネルギー開発を活かした地域振興の実現に向けて	松村悠子	2014.11	人間環境論公開セミナー 「サステナビリティ・サイエンスの実践的展開」人間環境論の世界によるこ					
発表 (研究会)	地域に還元できる新エネルギー開発に向けてー東京都八丈島の地熱 利用拡大検討事業を事例にー	松村悠子	2014.12	第 3 回グローバル人間学研究会					
著書	新エネルギー開発を活かした地域振興の実現に向けてー沖縄県宮古島の事例からの一考察ー	松村悠子,三好恵真子	2015.02	思沁夫・田中仁編 OUFU ブックレット vol.6,東アジア“生命健康圏”構築に向けてー大気汚染と健康問題を考える日中国際会議の記録,					

## ○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.08	松村悠子	独創的研究活動経費	未来戦略機構第一部門超域イノベーション博士課程プログラム

学生氏名	川口 奈穂	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	ゴラン高原におけるドルーズ派教徒の生活空間—境界に生きる人々—	川口奈穂、三好恵真子	2014.05	第41回日本生活学会	○
国際会議 (proc.あり)	ゴラン高原におけるドルーズ派コミュニティの生活空間とゆらぎ：境界に生きる人々	川口奈穂、三好恵真子	2014.10	東アジア“生命健康圏”構築に向けて：大気汚染と健康問題を考える日中国際会議	○
発表	ゴラン高原におけるドルーズ派教徒の生活空間とコミュニティのゆらぎ：境界に生きる人々	川口奈穂	2014.11	人間環境論公開セミナー『サステイナビリティ・サイエンスの実践的展開—人間環境論の世界によろこせ』	
発表	ゴラン高原におけるドルーズ派コミュニティの占領下の抵抗と将来への葛藤	川口奈穂	2014.12	第3回グローバル人間学研究会	
報告書	ゴラン高原におけるドルーズ派コミュニティの生活空間とゆらぎ—境界に生きる人々	川口奈穂、三好恵真子	印刷中	【OUFCブックレット vol.6】東アジア“生命健康圏”構築に向けて—大気汚染と健康問題を考える日中国際会議の記録	○

学生氏名	西川 優花	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.なし)	イラン ザーヤンデルード川をめぐる水危機と人々の暮らし	西川 優花	2014.10	大気汚染と健康問題を考える日中国際会議	
著書	イラン ザーヤンデルード川をめぐる水危機と人々の暮らし	西川 優花	2015.02	OUFCブックレット vol.6,pp(印刷中)	

指導教員	河森 正人	講座/研究分野	動態地域論
------	-------	---------	-------

学生氏名	永尾 あとり	学年	MC1
------	--------	----	-----

## ○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.12	永尾あとり	平成26年度第3回大阪大学未来基金グローバル化推進事業「研究留学助成金」	大阪大学未来基金グローバル化推進事業

指導教員	鈴木 広和	講座/研究分野	動態地域論
------	-------	---------	-------

学生氏名	八十田 糸音	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	Libellus de medicinalibus indorum herbis をめぐる歴史的考察	八十田 糸音	2014.06	日本ラテンアメリカ学会第35回定期大会【大阪】	
国際会議 (proc.あり)	The historical background of the de la Cruz Badiano codex: Focusing on Francisco de Mendoza	八十田 糸音	2014.09	Latin American Studies Council of Asia and Oceania (CELAO) The 6th Conference at Kyoto	有

学生氏名	本田 彩奈子	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (研究会)	ハンガリーにおける無形文化遺産の祭り、プジョーヤーラーシュについて：地域住民による「真正性」の創出	本田彩奈子	2014.07	グローバル人間学研究会	

指導教員	宮原 暁	講座/研究分野	超域地域論
------	------	---------	-------

学生氏名	陳 徳奇	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (シンポジウム)	生涯教育としての日本語及び日本文化	TAN TACKKI	2014.11	フォーラムディスカッション 第10回国際日本語教育日本研究シンポジウム	

学生氏名	原 めぐみ	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (紀要)	在日フィリピン人の1.5世代—日本は定住地か、それとも通過点か	高畑幸・原めぐみ	2014.09	『国際関係・比較文化研究』第13巻, 第1号, 21-40頁	

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	ジャパニーズ・フィリピンへの支援と研究：方法としての「語り」	原めぐみ・津田友理香	2014.05	第21回多文化間精神医学学会学術総会	
国内学会	日比を往来する子どもたち：トランスナショナルな葛藤と実践	原めぐみ	2014.06	移民学会第24回年次大会	
国内学会	若者移民の表象への抵抗と肯定：日本とフィリピンを移動する若者グループの事例を通して	原めぐみ	2014.11	日本平和学会	
国内学会	想像・想像されるトランスナショナル家族：日本とフィリピンを往来する若者移民を事例として	原めぐみ	2014.11	日本社会学会	
国際会議 (Proc.あり)	Storied "Japanese" by Japanese-Filipino Youths: Blood, Memory and Migration	Megumi Hara	2014.12	the 4th JSA-ASEAN Conference 2014	
国際会議 (Proc.なし)	Family Identity and Family Ideology: Narratives of Youths Shuttling between Japan and the Philippines	Megumi Hara	2015.02	International Workshop Japan's New Immigrants	
発表 (一般向けセミナー)	大阪府における外国人親子の暮らし：直面する子育てと教育の課題	原めぐみ・伊藤セリア	2014.02	NPO 法人関西国際交流協議会主催 ワールドフェスティバル	
発表 (報告会)	外国人母子の生活・子育て支援を考える：大阪市淀川区・西淀川区・兵庫県尼崎市での取り組みから	原めぐみ	2014.02	NPO 法人多文化共生センター大阪主催、多文化共生セミナー	
発表 (報告会)	改正国籍法施行後のジャパニーズ・フィリピン・チルドレンの来日と就労の課題	原めぐみ	2014.04	NPO 法人 JFC ネットワーク主催、調査報告会	
発表 (シンポジウム)	定住ニューカマーの子どもたちと学校をめぐる最新の動向：フィリピンと日本を越境する子どもの言語習得	原めぐみ	2014.05	シンポジウム：外国にルーツをもつ子どもとデジタル教科書のあり方を考える	
発表 (報告会)	旧/新日系人の包括と排除：フィリピンダバオにおけるトランスナショナルな若者達の移動に関する調査	原めぐみ	2014.05	平成25年度大学院生調査研究助成成果報告会	
発表 (研究会)	フィリピンルーツの子ども・若者が抱える課題と地域支援：方法としての語り	原めぐみ	2014.09	関西社会学会若手企画部会事前研究会	
発表 (ワークショップ)	新日系フィリピン人の帰郷：教育・労働・家族の三重苦	原めぐみ	2015.01	関西学院大学、経済ワークショップ	
発表 (報告会)	移動という物語：フィリピンから来日する若者移民への調査から	原めぐみ	2015.02	京都大学地域研究統合情報センター共同研究：物語を基にしたコミュニティづくりを目指す地域研究報告会	
報告書	大阪市淀川区・西淀川区・兵庫県尼崎市における外国人母子実態調査報告書	NPO 法人多文化共生センター大阪 (分担執筆)	2014.02		
報告書	改正国籍法施行後のジャパニーズ・フィリピン・チルドレンの来日と就労の課題	NPO 法人 JFC ネットワーク (分担執筆)	2014.05		

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
2014.06	原めぐみ	不公平な契約と劣悪な環境－就労や日本での生活実態で新日系2世に新たな問題	まにら新聞、2面
2014.11	原めぐみ	貧困・女性・外国人、3つの呪縛	関西非正規等労働組合ユニオンぼちぼち機関紙、31号、4頁

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2013.04	笠井賢紀 (代表)、原めぐみ 他	共同利用・共同研究拠点、地域研究方法論プロジェクト	京都大学地域研究統合情報センター
2013.11-2014.10	内田晴子 (代表)、原めぐみ 他	トヨタ財団国際助成プロジェクト	トヨタ財団

学生氏名	リュウ ヨウ	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.あり)	海參貿易と華商網絡：清代海上系綢之路上的飲食文化交流相關研究 (ナマコ貿易と華商ネットワーク：清代海上シルクロードにおける食文化交流に関する研究)	劉征宇・劉陽	2014.11	Asian Food Culture Forum 亞洲食学论坛 2014 (西安)	○				

指導教員	大谷 順子	講座/研究分野	地域秩序論
------	-------	---------	-------

学生氏名	張 玉梅	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (紀要)	"Role of post-disaster NGO at the 2008 Wenchuan and 2013 Lushan Earthquakes in Sichuan in P.R. China: Case study of grass-root NGO for mental support"	Zhang, Yumei & Otani, Junko	2015.03	Osaka Human Sciences, Vol.1					
発表	中国四川大地震の震災復興における中国 NGO の役割に関する研究 一草の根 NGO の活動を事例として	張玉梅	2014.06	外務省「JENESYS2.0」事業 中国大学生訪日団第10陣 (130名) を大阪大学で受け入れた際、大阪大学コンベンションセンターMO ホールにおいて、研究発表					

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表	中国四川大地震の震災復興における中国 NGO の役割に関する研究	張玉梅	2014.06	四川師範大学心理学院研究会	
報告書(研究助成財団)	中国高齢者支援現状の調査報告—中国四川省 NPO 組織益多公益を事例として—	大谷順子・張玉梅・高欣・孫佳怡	2015.03	ユニバーサル財団研究助成事業 報告書	

学生氏名	高 欣	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表(交流会)	四川省北川県における四川大地震後観光事業の発展に関する研究—災害観光を中心に—	高欣	2014.06	外務省「JENESYS2.0」事業 中国大学生訪日団第10陣(130名)交流会	
発表(研究会)	四川省北川県における四川大地震後観光事業の発展に関する研究—災害観光を中心に—	高欣	2014.06	四川師範大学心理学院研究会	
報告書	中国高齢者支援現状の調査報告—中国四川省 NPO 組織益多公益を事例として—	大谷順子、張玉梅、高欣、孫佳怡	2015.03	ユニバーサル財団研究助成事業 報告書	

学生氏名	孫 佳怡	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究発表	災害遺児の心のケアにおけるボランティア活動について—四川大地震を事例に	孫 佳怡	2014.06	外務省「JENESYS2.0」事業 中国大学生訪日団第10陣	
研究発表	災害遺児の心のケアにおけるボランティア活動について—四川大地震を事例に	孫 佳怡	2014.06	中国四川師範大学心理学院研究会	
報告書	「中国高齢者支援現状の調査報告—中国四川省 NPO 組織益多公益を事例として—」	張玉梅、高欣、孫佳怡	2015.03	ユニバーサル財団研究助成事業	

指導教員	福岡 まどか	講座/研究分野	地域知識論
------	--------	---------	-------

学生氏名	長澤 理加	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	小規模手工芸品生産者支援組織が生産者に対して果たす役割：インドネシア・ジョグジャカルタ市の事例から	長澤理加	2015.02	大阪大学大学院人間科学研究科 グローバル人間学紀要第7号	○

2-2-7. PDの研究記録

社会学系

指導教員	Robert Scott North	講座/研究分野	文化社会学
------	--------------------	---------	-------

学生氏名	Sharon J. Yoon	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.あり)	Cultivating Ethnic Solidarity in the Transnational Enclave	Sharon J. Yoon	2014.07	International Sociological Association	・
発表 (その他)	The Deterioration of Ethnic Solidarity in Korean Enclaves	Sharon J. Yoon	2014.10	Kyoto Lecture Series	
発表 (その他)	Solidarity in the Korean Transnational Church in Beijing	Sharon J. Yoon	2015.01	Ewha Womans University	
発表 (その他)	Globalization and the Korean Diaspora	Sharon J. Yoon	2015.01	Seoul National University	

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2013.09	Sharon J. Yoon	日本学術振興会奨励賞	日本学術振興会

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2013.08	Sharon J. Yoon	平成26年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立法人 日本学術振興会

人間学系

指導教員	村上 靖彦	講座/研究分野	現代思想
------	-------	---------	------

学生氏名	八幡 恵一	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	Intersubjectivité et métaphysique chez Merleau-Ponty	Keiichi Yahata	2015.02	Revue Internationale Michel Henry No.6	○
学術論文 (紀要)	真理と表現—メルロ=ポンティ『世界の散文』における真理の問題	八幡恵一	2014.04	東京大学大学院、年報地域文化研究第17号、pp. 91-113	○
国内学会	不可逆の老い—シャルル・ペギーと歴史の哲学	八幡恵一	2015.03	日仏哲学会春季研究大会(大阪)	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	八幡 恵一	平成26年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	長坂 真澄	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	アボリアの始まり—若きデリダのフッサール『算術の哲学』読解—	長坂真澄	2014.11	現象学年報(30) pp. 133-140	○
学術論文 (学会誌)	知の不可能性において語る声—ジャック・デリダ『声と現象』再読	長坂真澄	2015.03	宗教哲学研究(32) pp. 109-122	○
学術論文 (学会誌)	マルク・リシールはなぜ現象学の鑄直しを唱えるのか—カントの超越論的理想批判を導きの糸とするフッサール、ハイデガー読解	長坂真澄	2015.04	表象(9) pp. 156-170	○
学術論文 (紀要)	詩作と思索を差異化するもの—デリダのハイデガー読解より	長坂真澄	2014.12	京都大学宗教学研究紀要(11) pp. 3-21	○
学術論文 (商業誌)	デリダと存在神学—カント、ハイデガー、レヴィナスの交錯する場所へ	長坂真澄	2015.01	現代思想 43(2) pp. 308-321	
国内学会	デリダと存在神学	長坂真澄	2014.11	脱構築研究会	
国内学会	なぜ「存在」の語に抹消線は引かれなければならなかったのか—哲学の哲学による自己批判としてハイデガーの思索を読む:デリダの『ハイデガー』講義(1964-65年)より	長坂真澄	2014.11	日本現象学会	
国際会議 (proc.あり)	Derrida et la notion de l'« impossible » dans la continuité de Chestov et de Levinas	Masumi Nagasaka	2014.08	Le XXXVe Congrès de l'ASPLF (Association des Sociétés philosophiques de langue française)	
国際会議 (proc.なし)	L'impossibilité double - ontologique et méta-ontologique - comme condition de la réalité effective : Mariage de Descartes et Kant dans Autrement qu'être ou au-delà de l'essence	Masumi Nagasaka	2014.07	SIREL (Société Internationale de Recherche Emmanuel Levinas)	

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.なし)	Verwandlung des Verhältnisses zwischen der Möglichkeit und der Wirklichkeit - Tengelyis Skizze der Grundtendenz der neuen Phänomenologie in Frankreich	Masumi Nagasaka	2014.07	Unterwegs zu einer phänomenologischen Metaphysik - Festtagung für László Tengelyi zum 60. Geburtstag	
国際会議 (proc.なし)	Face à l'ontothéologie – Kant, Heidegger et Levinas	Masumi Nagasaka	2014.10	Journées d'études - LIRE HEIDEGGER Réflexions sur les lectures de Heidegger dans la philosophie française contemporaine	
国際会議 (proc.なし)	Worin unterscheidet sich die phänomenologische Metaphysik von der ontotheologischen Metaphysik? -- László Tengelyis Entwurf auf den Spuren Marc Richirs	Masumi Nagasaka	2015.02	Journées d'hommage à László Tengelyi - Tagung László Tengelyi zu Ehren Charles University in Prague, Faculty of Humanities - Erasmus Master Mundus EuroPhilosophie	

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2014.11	長坂真澄	研究奨励賞	日本現象学会

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	長坂真澄	特別研究員奨励費	日本学術振興会

指導教員	栗本 英世	講座/研究分野	人類学
------	-------	---------	-----

学生氏名	飛内 悠子		PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	『スーダン』におけるキリスト教信仰覚醒運動: ククの人々の移動を基底として	飛内 悠子	2014.05	『アフリカ研究』84号	○	
国際会議 (proc.なし)	Locality Arises from Motion: The Transformative Trajectory of Khartoum's Meaning among Returnees to Juba, South Sudan	Yuko TOBINAI	2014.05	International Union of Anthropological and Ethnological Science Inter-Congress 2014		
国際会議 (proc.なし)	The Image of Sudan and People's Choices: The Perspectives of Migrants in Khartoum after the Independence of South Sudan	Yuko TOBINAI	2014.05	Sudan Studies Association 33th Annual Conference	○	
発表 (研究会)	もう一つのハルツーム: 『スーダン』におけるククの人々の移動の経験から	飛内 悠子	2014.04	武蔵野アフリカ研究会		
発表 (研究会)	ウガンダ共和国アジュマニ県における南スーダン難民の自治から見るシティズンシップ	Yuko TOBINAI	2014.07	東京外国語大学アジア・アフリカ研究所共同研究会 「シティズンシップと政治参加」		
著書	見出される差異と結び付き: 暫定期間と南スーダン独立後のハルツームに生きるキリスト教徒	飛内悠子	2015.03	上智大学イスラーム研究センター		

教育学系

指導教員	中澤 渉	講座/研究分野	教育社会学
------	------	---------	-------

学生氏名	白川 俊之		PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国際会議 (proc.なし)	Effect of social context on inequality of educational opportunity in postwar Japan: Industrialization, educational expansion, and multi dimensionality in the stratification system	Shirakawa, T	2014.07	International conference: How do education systems shape educational inequalities?	○	
国際会議 (proc.なし)	The Impact of Employment System on Feeling of Happiness in Germany and Japan	Shirakawa, T	2014.10	International Workshop: Comparative Study on Happiness	○	
発表 (成果報告)	出身階層と高等教育の学科・専攻選択との関係	白川 俊之	2015.03	課題公募型研究成果報告会		
報告書	高校生の大学進学期待と社会階層: 合理的行為理論にもとづく親学歴効果の説明	白川 俊之	2014.05	東京大学社会科学研究所 「高校生の進路意識の形成とその母親の教育的態度との関連性」研究成果報告書, Pp. 163-79.		

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2014.04	白川 俊之	平成 26 年度科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立行政法人日本学術振興会

指導教員	中村 安秀	講座/研究分野	紛争復興開発論
------	-------	---------	---------

学生氏名	BELARGA.O.T	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.あり)	Comparison of Local Disaster Management Systems Across Levels of Development: Case of Japan, Poland, Philippines and Bangladesh (Porównanie systemów zarządzania kryzysowego na poziomie lokalnym w zależności od poziomów rozwoju społecznego – założenia projektu)	Zbigniew, Piepora; Oliver Belarga; Ton Alindogan; and Raju Sarkar	2014.09	International Conference on Disaster Management, Krakow, Poland	○
国際会議 (proc.なし)	Developing a cost effective model for mental health care among Syrian refugees in Lebanon	Belarga, Oliver; Mohamed Fouad	2014.06	Human Security and Humanitarian Response: Increasing Effectiveness and Accountability in the Age of Complex Emergencies, Brown University, USA	
国際会議 (proc.なし)	Overview of Child Protection in Emergencies Law in the Philippines	Belarga, Oliver	2014.11	UNICEF Asia Pacific Training in Child Protection in Emergencies, Koror, Palau	
発表 (その他)	Disaster Management Issues in Palau	Belarga, Oliver	2014.12	Office of the President, National Emergency and Management Office, Koror, Palau	
発表 (その他)	Palau: Treasures at the Rainbow's End	Belarga, Oliver	2015.01	Fellowship Presentation, University of Tokyo, Graduate School of Medicine, Department of Global Health Policy, Japan	
発表 (その他)	Overview: Disaster Management Issues in Palau	Belarga, Oliver	2015.02	Public Presentation at the Embassy of the Philippines, Tokyo, Japan	
発表 (その他)	Hospital Preparedness and Health Emergency Issues in Palau	Belarga, Oliver	2015.02	Public Presentation at the Embassy of Palau, Tokyo, Japan	

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
2014.06.22	Oliver Belarga	Brown University Fellow on Humanitarian Response	Brown University Advanced Research Institute, Rhode Island, USA
2015.03.20	Oliver Belarga	Global Leadership Program Fellowship	University of Tokyo, Graduate School of Medicine

指導教員	藤目 ゆき	講座/研究分野	多文化共生社会論
------	-------	---------	----------

学生氏名	YANG.D	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.あり)	Cultivating Ethnic Solidarity in the Transnational Enclave	Sharon J. Yoon	2014.07	International Sociological Association	○
発表 (その他)	The Deterioration of Ethnic Solidarity in Korean Enclaves	Sharon J. Yoon	2014.10	Kyoto Lecture Series	
発表 (その他)	Solidarity in the Korean Transnational Church in Beijing	Sharon J. Yoon	2015.01	Ewha Womans University	
発表 (その他)	Globalization and the Korean Diaspora	Sharon J. Yoon	2015.01	Seoul National University	